

工 事 名	令和6年度 富谷小学校・日吉台小学校特別教室空調設備設置工事 仕様書(参考)		
金 額	一金 円也 (内消費税額 円)		
構 造 規 模	空調機器新設工事 1式(ガスヒートポンプ方式) 富谷小学校 室内機 3台、室外機 1台 日吉台小学校 室内機 10台、室外機 1台		
仕 様 概 要	別紙のとおり		
項 目	摘 要	金 額	備 考
直 接 工 事 費			
共 通 仮 設 費			
純 工 事 費			
現 場 管 理 費			
工 事 原 価			
一 般 管 理 費			
工 事 価 格			
改 ム			
消 費 税	%		
総 合 計			

※この仕様書の数量は参考数量です。内容の如何にもかかわらず、契約上何事の拘束をするものではありません。

内 訳 明 細 書

記 号	名 称	品 質 ・ 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	直接工事費						
(A)	建築工事		1.0	式			
(B)	電気設備工事		1.0	式			
(C)	機械設備工事		1.0	式			
	合 計						

内 訳 明 細 書

記号	名称	品質・寸法	数量	単位	単価	金額	備考
	【富谷小学校】						
1	直接仮設工事						
	(外部)						
	遣方	小規模	10.5	m2			
	墨出し	小規模	10.5	m2			
	養生	小規模	10.5	m2			
	整理清掃後片付け	小規模	10.5	m2			
	(内部)						
	墨出し(内部改修)	個別改修	181	m2			
	養生(内部改修)	個別改修	494	m2			
	整理清掃後片付け(内部改修)	個別改修	494	m2			
	内部仕上足場(改修)	階高4.0m以下、脚立足場	494	m2			
	仮設資材運搬費	脚立足場	494	m2			
	計						

内 訳 明 細 書

記号	名称	品質・寸法	数量	単位	単価	金額	備考
	【富谷小学校】						
2	外部屋外機廻り改修工事						
	(a) 舗装撤去・復旧						
	カッター入れ	アスファルト・コンクリート	13.0	m			
	アスファルト舗装撤去	ハンドブレーカー	0.5	m3			
	碎石敷き	人力(厚さ20cm)	9.7	m2			
	(b) 屋外機基礎新設						
	根切り	人力土工	1.3	m3			
	埋戻し	人力土工	0.7	m2			
	積込み	人力土工	0.7	m3			
	建築発生土運搬	人力積込、発生土運搬5km程度	0.7	m3			
	土工機械運転(ダンプトラック)	ディーゼル4t積級	1.0	運転日			
	砂利地業	基礎下、再生クラッシュラン	0.4	m3			
	異形棒鋼	SD295A、D13、小口	0.06	t			
	異形棒鋼	SD295A、D16、小口	0.02	t			

内 訳 明 細 書

記号	名称	品質・寸法	数量	単位	単価	金額	備考
	【富谷小学校】						
	鉄筋加工組立	小規模構造物	0.08	t			
	鉄筋運搬費	4t車、30km程度	0.08	t			
	捨てコンクリート	FC=18N S=15	0.1	m3			
	コンクリート打設手間	小規模構造物、人力、工作物等基礎	0.1	m3			
	普通コンクリート	FC=21N S=15	0.4	m3			
	コンクリート打設手間	小規模構造物、人力、工作物等基礎	0.4	m3			
	普通合板型枠	小規模構造物用	4.3	m2			
	型枠運搬費	4t車、30km程度	4.3	m2			
	打放し面補修	B種	2.0	m2			
	天端コンクリート直均し仕上げ	金ごて 直均し仕上げ	0.8	m2			
	鋼製架台	溶融亜鉛メッキ製 C-150x75、L=1900×2本	1.0	組			
	アンカーボルト	M16×L=500	4.0	本			
	アンカーボルト埋込み	取付手間	4.0	本			
	(c) 囲障改修						
	既存メッシュフェンス撤去		1.0	式			
	メッシュフェンス	A1800-50、 基礎ブロック寸法180×180×450	4.5	m			
	計						

内 訳 明 細 書

記号	名称	品質・寸法	数量	単位	単価	金額	備考
	【富谷小学校】						
3	内部改修工事						
	(撤去)						
	天井ボード類撤去	一重張り、一般	8.5	m2			
	(改修)						
	天井化粧せつこうボード張り	厚9.5 準不燃	5.8	m2			
	天井有孔化粧せつこうボード張り	厚12.5 準不燃	2.7	m2			
	天井点検口	アルミ450角	28.0	か所			
	計						

内 訳 明 細 書

記 号	名 称	品 質 ・ 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	【富谷小学校】						
4	発生材処分費						
	発生材積込	コンクリート類、人力	0.7	m3			
	発生材積込	ボード類、人力	0.07	m3			
	発生材運搬	DID区間有,10.5km以下,人力積込 アスファルト、コンクリート類	0.7	m3			
	発生材運搬	DID区間有,10.5km以下,人力積込 ボード類	0.07	m3			
	発生材処分	アスファルト	0.9	t			
	発生材処分	基礎ブロック等	0.2	t			
	発生材処分	ボード類	0.1	t			
	スクラップ	鉄類	0.05	t			
	計						

内 訳 明 細 書

記 号	名 称	品 質 ・ 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	【日吉台小学校】						
1	直接仮設工事						
	(外部)						
	遣方	小規模	13.5	m2			
	墨出し	小規模	13.5	m2			
	養生	小規模	13.5	m2			
	整理清掃後片付け	小規模	13.5	m2			
	外部足場	枠組足場W900、12m未満	53.8	m2			
	養生	メッシュシート張り	97.5	m2			
	安全手すり		5.4	m2			
	仮設材運搬費	枠組本足場	53.8	m2			
	仮設材運搬費	シート・ネット類	97.5	m2			
	仮設材運搬費	安全手すり	5.4	m2			
	(内部)						
	墨出し(内部改修)	個別改修	515	m2			
	養生(内部改修)	個別改修	788	m2			

内 訳 明 細 書

記号	名称	品質・寸法	数量	単位	単価	金額	備考
	【日吉台小学校】						
	養生(内部改修)	搬出入路部分	144	m2			
	整理清掃後片付け(内部改修)	個別改修	788	m2			
	整理清掃後片付け(内部改修)	搬出入路部分	144	m2			
	内部仕上足場(改修)	階高4.0m以下、脚立足場	788	m2			
	仮設資材運搬費	脚立足場	788	m2			
	計						

内 訳 明 細 書

記号	名称	品質・寸法	数量	単位	単価	金額	備考
	【日吉台小学校】						
2	外部屋外機廻り改修工事						
	(a) 舗装撤去・復旧						
	砕石敷き	人力(厚さ20cm)	10.1	m2			
	(b) 屋外機基礎新設						
	根切り	人カ土工	1.9	m3			
	埋戻し	人カ土工	1.1	m3			
	積込み	人カ土工	1.1	m3			
	建築発生土運搬	人カ積込、発生土運搬5km程度	1.1	m3			
	土工機械運転(ダンプトラック)	ディーゼル4t積級	1.0	運転日			
	砂利地業	基礎下、再生クラッシュラン	0.7	m3			
	異形棒鋼	SD295A、D13、小口	0.09	t			
	異形棒鋼	SD295A、D16、小口	0.03	t			

内 訳 明 細 書

記号	名称	品質・寸法	数量	単位	単価	金額	備考
	【日吉台小学校】						
	鉄筋加工組立	小規模構造物	0.1	t			
	鉄筋運搬費	4t車、30km程度	0.1	t			
	捨てコンクリート	FC=18N S=15	0.2	m3			
	コンクリート打設手間	小規模構造物、人力、工作物等基礎	0.2	m3			
	普通コンクリート	FC=21N S=15	0.6	m3			
	コンクリート打設手間	小規模構造物、人力、工作物等基礎	0.6	m3			
	普通合板型枠	小規模構造物用	6.5	m2			
	型枠運搬費	4t車、30km程度	6.5	m2			
	打放し面補修	B種	2.9	m2			
	天端コンクリート直均し仕上げ	金ごて 直均し仕上げ	1.2	m2			
	鋼製架台	溶融亜鉛メッキ製 C-150x75、L=3600×2本	1.0	組			
	アンカーボルト	M16×L=500	6.0	本			
	アンカーボルト埋込み	取付手間	6.0	本			
	(c) 囲障改修						
	既存メッシュフェンス撤去		1.0	式			
	メッシュフェンス	A1800-50、 基礎ブロック寸法180×180×450	9.2	m			
	計						

内 訳 明 細 書

記号	名称	品質・寸法	数量	単位	単価	金額	備考
	【日吉台小学校】						
3	内装工事						
	(撤去)						
	天井ボード類撤去	一重張り、一般	15.1	m2			
	(改修)						
	天井化粧せつこうボード張り	厚9.5 準不燃	15.1	m2			
	天井点検口	アルミ450角	38.0	か所			
	計						

内 訳 明 細 書

記 号	名 称	品 質 ・ 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	【日吉台小学校】						
4	発生材処分費						
	発生材積込	コンクリート類、人力	0.2	m3			
	発生材積込	ボード類、人力	0.2	m3			
	発生材運搬	DID区間有,10.5km以下,人力積込 アスファルト、コンクリート類	0.2	m3			
	発生材運搬	DID区間有,10.5km以下,人力積込 ボード類	0.2	m3			
	発生材処分	基礎ブロック等	0.2	t			
	発生材処分	ボード類	0.2	t			
	スクラップ	鉄類	0.06	t			
	計						

内 訳 明 細 書

記号	名称	品質・寸法	数量	単位	単価	金額	備考
(B)	電気設備工事(直接工事費)						
a	【富谷小学校】電気設備工事						
	1)空調機電源工事		1.0	式			
	2)移設・取外し再取付工事		1.0	式			
	小計						
b	【日吉台小学校】電気設備工事						
	1)空調機電源工事		1.0	式			
	2)移設・取外し再取付工事		1.0	式			
	小計						
	合計						

内 訳 明 細 書

記号	名称	品質・寸法		数量	単位	単価	金額	備考
a	富谷小学校							
	1)空調機電源工事							
	電線管	GZ28	露出	2.0	m			
	電線管	GZ28	埋設	15.0	m			
	金属製可とう電線管	30mm	ビニル被覆有 防水型	2.0	m			
	プルボックス	SS200x200x150		2.0	個			
	ケーブル	EM-EEF2.0-3C	ころがし	17.0	m			
	ケーブル	EM-CE5.5-4C	管内	16.0	m			
	根切り	人力		0.7	m ³			
	埋戻し	人力		0.7	m ³			
	既設キュービクル改修工事			1.0	工事			
	既設動力盤改修工事 P-A			1.0	工事			
	計							

内 訳 明 細 書

記号	名称	品質・寸法		数量	単位	単価	金額	備考
	2)移設・取外し再取付工事							
	ケーブル	EM-EEF1.6-3C	ころがし	4.0	m			
	ケーブル	EM-AE0.9-4C	ころがし	2.0	m			
	移設・取外し再使用する	照明器具	FL40W2灯 直付	5.0	台			
	移設・取外し再使用する	照明器具	FL40W1灯 直付	1.0	台			
	移設・取外し再使用する	差動式感知器		2.0	個			
	計							

内 訳 明 細 書

記号	名称	品質・寸法		数量	単位	単価	金額	備考
b	日吉台小学校							
	1)空調機電源工事							
	電線管	GZ28	露出	13.0	m			
	金属製可とう電線管	30mm	ビニル被覆有 防水型	2.0	m			
	プルボックス	SS200x200x150		5.0	個			
	プルボックス	SS200x200x150	SUS製 防水型	3.0	個			
	ケーブル	EM-EEF2.0-3C	ころがし	69.0	m			
	ケーブル	EM-CE5.5-4C	管内	14.0	m			
	既設キュービクル改修工事			1.0	工事			
	既設動力盤改修工事 P-A			1.0	工事			
	計							

内 訳 明 細 書

記号	名称	品質・寸法		数量	単位	単価	金額	備考
	2) 移設・取外し再取付工事							
	ケーブル	EM-AE0.9-4C	ころがし	6.0	m			
	移設・取外し再使用する	照明器具	FL40W2灯 直付	6.0	台			
	移設・取外し再使用する	照明器具	FL40W1灯 直付	14.0	台			
	移設・取外し再使用する	差動式感知器		3.0	個			
	計							

内 訳 明 細 書

記号	名称	品質・寸法	数量	単位	単価	金額	備考
a	富谷小学校						
	機械設備工事(直接工事費)						
1	空調設備工事		1.0	式			
	1)機器設備		1.0	式			
	2)配管設備		1.0	式			
	3)制御設備		1.0	式			
2	ガス設備		1.0	式			
	直接工事費 計						

内 訳 明 細 書

記号	名称	品質・寸法	数量	単位	単価	金額	備考
1	空調設備						
	1)機器設備						
	屋外ユニット:都市ガス対応型						
	GHPマルチ GHP-4:P-450	標準形 冷暖切替 冷房能力:45.0kW 暖房能力:50.0kW	1.0	台			
	防振架台、他付属品		1.0	式			
	同上据付費		1.0	式			
	同上搬入費		1.0	式			
	屋内ユニット	天井吊形 ドレンアップ共					
	GHP-4-1	天井吊形 ドレンアップ共 冷房能力:14.0kW 暖房能力:16.0kW	1.0	台			
	GHP-4-2	天井吊形 ドレンアップ共 冷房能力:11.2kW 暖房能力:12.5kW	2.0	台			
	屋内機付属品、他		1.0	式			
	同上据付費		1.0	式			
	総合調整費		1.0	式			
	計						

内 訳 明 細 書

記号	名称	品質・寸法	数量	単位	単価	金額	備考
1	2)配管設備						
	冷媒管	ガス管 保温厚20mm以上 15.9	60.0	m			
	冷媒管	ガス管 保温厚20mm以上 22.2	45.0	m			
	冷媒管	ガス管 保温厚20mm以上 31.8	70.0	m			
	冷媒管	液管 保温厚10mm以上 9.5	104	m			
	冷媒管	液管 保温厚10mm以上 15.9	70.0	m			
	屋外化粧カバー(冷媒管)	樹脂製 140×80	18.0	m			
	ドレン管	空調ドレン用結露防止層 付硬質塩化ビニル管 屋内一般 25A	18.0	m			
	ドレン管	空調ドレン用結露防止層 付硬質塩化ビニル管 屋内一般 30A	21.0	m			
	ドレン管	硬質塩化ビニル管 屋外架空 25A	4.0	m			
	ドレン管	硬質塩化ビニル管 屋外架空 30A	4.0	m			
	化粧カバー(屋内露出部ドレン管)	樹脂製 60×58	12.0	m			
	小計						

内 訳 明 細 書

記号	名称	品質・寸法	数量	単位	単価	金額	備考
	エアカットバルブ	25A	1.0	ヶ			
	同上取付工費	25A	1.0	ヶ			
	エアカットバルブ	32A	1.0	ヶ			
	同上取付工費	32A	1.0	ヶ			
	配管用防虫網	25A	1.0	ヶ			
	配管用防虫網	32A	1.0	ヶ			
	防火区画貫通処理	認定工法 壁貫通部	4.0	ヶ所			
	同上取付工費		4.0	ヶ所			
	機械はつり(壁)	ダイヤモンドカッター使用 100φ×180mm	10.0	ヶ所			
	X線探査		10.0	ヶ所			
	小計						
	計						

内 訳 明 細 書

記号	名称	品質・寸法	数量	単位	単価	金額	備考
1	3)制御設備						
	EM-CEES ケーブル	1.25° -2C 管内	197	m			
	EM-CEES ケーブル	1.25° -2C コロガシ	18.0	m			
	第1種金属線ぴ(MM)	A型	6.0	m			
	第1種金属線ぴ(MM) スイッチボックス	A型・2個用	3.0	個			
	第1種金属線ぴ(MM) コーナーボックス	A型	4.0	個			
	空調機操作リモコン	※取付労務のみ	3.0	箇所			
	計						

内 訳 明 細 書

記号	名称	品質・寸法	数量	単位	単価	金額	備考
2	ガス設備						
	基本工事費		1.0	式			
	硬質塩化ビニル外面被覆鋼管	25A	8.0	m			
	検査孔付ネジガス栓	20A	1.0	個			
	強化ホース	20A×100CM	1.0	本			
	ステンレス支持金具取付割増	25A	8.0	ヶ所			
	切断取出し土工無し(鋼管類)	50A	1.0	ヶ所			
	形鋼支持		1.0	式			
	消費税等相当額		1.0	式			
	計						

内 訳 明 細 書

記号	名称	品質・寸法	数量	単位	単価	金額	備考
b	日吉台小学校						
	機械設備工事(直接工事費)						
1	空調設備工事		1.0	式			
	1)機器設備		1.0	式			
	2)配管設備		1.0	式			
	3)制御設備		1.0	式			
2	ガス設備		1.0	式			
	直接工事費 計						

内 訳 明 細 書

記号	名称	品質・寸法	数量	単位	単価	金額	備考
1	空調設備						
	1)機器設備						
	屋外ユニット:都市ガス対応型						
	GHPマルチ GHP-4:P-710+P-850	標準形 冷暖切替 冷房能力:156.0kW 暖房能力:175.0kW	1.0	台			
	防雪フード、防振架台、他付属品		1.0	式			
	同上据付費		1.0	式			
	同上搬入費		1.0	式			
	屋内ユニット						
	GHP-4-1	天井吊形 ドレンアップ共 冷房能力:14.0kW 暖房能力:16.0kW	4.0	台			
	GHP-4-2	天井吊形 ドレンアップ共 冷房能力:11.2kW 暖房能力:12.5kW	2.0	台			
	GHP-4-3	天井吊形 ドレンアップ共 冷房能力:11.2kW 暖房能力:12.5kW	2.0	台			
	GHP-4-4	天井吊形 ドレンアップ共 冷房能力:11.2kW 暖房能力:12.5kW	2.0	台			
	屋内機付属品、他		1.0	式			
	同上据付費		1.0	式			
	総合調整費		1.0	式			
	計						

内 訳 明 細 書

記号	名称	品質・寸法	数量	単位	単価	金額	備考
1	2)配管設備						
	冷媒管	ガス管 保温厚20mm以上 15.9	44.0	m			
	冷媒管	ガス管 保温厚20mm以上 22.2	18.0	m			
	冷媒管	ガス管 保温厚20mm以上 28.6	41.0	m			
	冷媒管	ガス管 保温厚20mm以上 31.8	1.0	m			
	冷媒管	ガス管 保温厚20mm以上 38.1	18.0	m			
	冷媒管	液管 保温厚10mm以上 9.5	63.0	m			
	冷媒管	液管 保温厚10mm以上 12.7	10.0	m			
	冷媒管	液管 保温厚10mm以上 15.9	31.0	m			
	冷媒管	液管 保温厚10mm以上 19.1	6.0	m			
	冷媒管	液管 保温厚10mm以上 22.2	12.0	m			
	屋内化粧カバー(冷媒管)	樹脂製 100×70	4.0	m			
	屋外化粧カバー(冷媒管)	樹脂製 140×80	21.0	m			
	小計						

内 訳 明 細 書

記号	名称	品質・寸法	数量	単位	単価	金額	備考
	ドレン管	空調ドレン用結露防止層 付硬質塩化ビニル管 屋内一般 25A	21.0	m			
	ドレン管	空調ドレン用結露防止層 付硬質塩化ビニル管 屋内一般 30A	40.0	m			
	ドレン管	空調ドレン用結露防止層 付硬質塩化ビニル管 屋内一般 40A	19.0	m			
	ドレン管	硬質塩化ビニル管 屋外架空 30A	5.0	m			
	ドレン管	硬質塩化ビニル管 屋外架空 40A	14.0	m			
	化粧カバー(屋内露出部ドレン管)	樹脂製 60×58	4.0	m			
	エアカットバルブ	32A	1.0	ヶ			
	同上取付工費	32A	1.0	ヶ所			
	エアカットバルブ	40A	2.0	ヶ			
	同上取付工費	40A	2.0	ヶ所			
	小計						

内 訳 明 細 書

記号	名称	品質・寸法	数量	単位	単価	金額	備考
	配管用防虫網	32A	1.0	ヶ			
	配管用防虫網	40A	2.0	ヶ			
	防火区画貫通処理	認定工法 壁貫通部	10.0	ヶ所			
	同上取付工費		10.0	ヶ所			
	天井吊形屋内機壁面取付架台	L形鋼 1500×800×800H 75×75×6t	4.0	台			
	同上取付工費		4.0	台			
	機械はつり(壁)	ダイヤモンドカッター使用 100φ×180mm	16.0	ヶ所			
	X線探査		16.0	ヶ所			
	既設ドレン管撤去	空調ドレン用結露防止層 付硬質塩化ビニル管 32A 屋内一般	13.0	m			
	既設ドレン管撤去	空調ドレン用結露防止層 付硬質塩化ビニル管 40A 屋内一般	4.0	m			
	小計						
	計						

内 訳 明 細 書

記号	名称	品質・寸法	数量	単位	単価	金額	備考
1	3)制御設備						
	厚鋼電線管(溶融亜鉛メッキ)	(GZ22) 露出	4.0	m			
	ねじなし電線管	(E25) インペイ	1.0	m			
	EM-CEES ケーブル	1.25° -2C 管内	180	m			
	EM-CEES ケーブル	1.25° -2C コロガシ	100	m			
	第1種金属線び(MM)	A型	17.0	m			
	第1種金属線び(MM) スイッチボックス	A型・2個用	10.0	個			
	第1種金属線び(MM) コーナーボックス	A型	11.0	個			
	フルボックス	SS200x200x100 WP-SUS	1.0	個			
	電線管ホントアース	(G22)	1.0	箇所			
	電動機接続材	F2-24	1.0	箇所			
	配管貫通孔 研り・補修	φ50 厚100~150mm	1.0	箇所			
	空調機操作リモコン	※取付労務のみ	10.0	箇所			
	計						

内 訳 明 細 書

記号	名称	品質・寸法	数量	単位	単価	金額	備考
2	ガス設備						
	基本工事費		1.0	式			
	ポリエチレン被覆鋼管(PLS)	25A以下	4.0	m			
	ポリエチレン被覆鋼管(PLS)	32A	4.0	m			
	中間ガス栓	20A	2.0	個			
	強化ガスホース	20A	2.0	本			
	付帯工事(支持金物、塗装等)		1.0	式			
	管分岐に伴う既存管組外し、取付		1.0	式			
	遮断弁付き大型ガスメーター	25号	1.0	台			
	大型ガスメーター架台		1.0	台			
	メーター設置工事		1.0	式			
	管理費		1.0	式			
	諸経費		1.0	式			
	計						

令和6年度富谷小学校・日吉台小学校特別教室空調設備設置工事
閲覧特記事項書

1. 工事实績情報登録

工事实績情報の登録について、契約締結後10日以内に登録の手続きを行うとともに、登録されたことを証明する資料を監督職員に提出すること。

2. 官庁その他への手続き関係

イ) 工事施工に必要な諸手続き(建築確認申請手続きを除く)、仮設用電力・水道の引込手続き、道路、電線、その他第三者管理の土地等を使用する際や支障移設等の手続きは一切工事施工者にて行い、且つその費用を負担すること。

ロ) 本工事施工により生じた付近道路、その他建築物又は工作物の損傷は一切施工者の責任において誠意をもって復旧すること。

又、近隣との融和につとめ、本工事による苦情が発注者まで及ばぬよう施工者の責任において処理すること。

3. 下請負契約、雇用及び購入業者選定

下請負業者の選定や職業労働者の雇入れ及び使用機器材の購入にあたっては富谷市内の業者及び労働者雇用に配慮すること。

4. 建材等について

工事に使用する建材については、無石綿建材とすること。

5. 諸検査等について

諸検査は工期に含むものとする。

6. 縮小図の提出

工事請負者は工事に先立ち、本工事設計図縮小製本(A-3版二つ折り製本)3部を提出すること。

8. 仮設計画について

本工事の施工期間中、小学校の利用に支障をきたさないよう事前に協議を行い仮設計画すること。

通常利用しながらの工事となるため、学校利用者と施工者の動線を明確に分け、通常利用に支障が無いよう管理すること(仮設計画図への明記)。

隣接地・近隣住民への配慮(着手前に近隣住民へ工事のお知らせの配布、騒音対策を徹底すること)。

令和6年度 富谷小学校・日吉台小学校特別教室空調設備設置工事

令和7年2月

発注者 富谷市
設計者 株式会社イーエーディエンドー建築設計室

建築工事特記仕様書	
<p>工事概要</p> <p>1 工事番号・名称 令和6年度 富谷小学校・日吉台小学校特別教室空調設備設置工事（繰越）</p> <p>2 工事場所 富谷市内 一円</p> <p>3 用途地域等 都市計画区域（内・外）用途地域（富谷小学校：第一種住居地域 日吉台小学校：第一種中高層住居専用地域）</p> <p>防火地域等（防火・準防火）指定なし（22条）</p> <p>その他の地域・地区（指定なし）</p> <p>4 主要用途 小学校</p> <p>5 敷地面積</p> <p>6 工事の概要</p> <p>1. 空調設備屋外機廻り改修工事 一式</p> <p>2. 空調設備屋内機設置に伴う天井仕上げ等改修工事 一式</p> <p>3. その他付帯改修工事 一式</p>	
<p>7 別途工事</p> <p>機械設備工事、電気設備工事</p>	
<p>8 その他</p>	
<p>9 特記仕様書の範囲</p> <p>特記仕様書は、本特記仕様書のほか以下の印もで構成する。</p> <p>・ 構造特記仕様書 ○ 外構工事特記仕様書 ○ 植栽工事特記仕様書</p> <p>・ 解体工事特記仕様書 ○ 電気設備工事特記仕様書 ○ 機械設備工事特記仕様書</p>	

建築工事仕様	
<p>1. 共通仕様</p> <p>図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築改修工事標準仕様書(令和4年版)」(以下、「改修標準仕様書」という。)による。ただし、「改修標準仕様書」に記載されていない事項は、「公共建築工事標準仕様書(令和4年版)」(以下「標準仕様書」という。)及び「建築物解体工事共通仕様書(令和4年版)」(以下「解体共通仕様書」という。)による。</p> <p>なお、施工条件明示書は特記仕様書に含める。</p> <p>2. 特記仕様</p> <p>1) 項目は、番号に印のついたものを適用する。</p> <p>2) 特記事項は、○印のついたものを適用する。○印のつかない場合は 印のついたものを適用する。○印と○印のついた場合は、共に適用する。</p> <p>3) 特記事項に記載の< >、()及び[]内の表示番号は、それぞれ「改修標準仕様書」、「標準仕様書」及び「解体共通仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。</p>	

章	項目	特記事項		
1	①. 一般事項	<p>○ 工事施工中に予期せぬ事象や疑義が生じた場合には、監督職員に報告の上、指示に従うこと。</p> <p>○ 受注者は、監督職員と随時打合せを行い、工程の確認・調整及び工事の円滑な進捗をはかること。</p> <p>○ 施工体系図を現場に掲示すること。</p> <p>・ 工事着手前及び完成時に、以下に示す調査範囲の近隣家屋等の内外の状況(地盤、擁壁、内外壁、床、建具等)を調査・記録し、報告書を監督職員に提出すること。</p> <p>調査範囲 図示</p>		
	②. 適用基準等	<p>○ 建設工事執行規則(昭和39年3月宮城県規則第9号)</p> <p>○ 宮城県建設工事元請・下請関係適正化要綱</p> <p>○ 建築工事標準詳細図(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 令和4年版)</p> <p>○ 営繕工事写真撮影要領(国土交通省大臣官房官庁営繕部 令和5年版)及び工事写真撮影ガイドブック(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 令和5年版)</p>		
	3. 概成工期	<p>工事工期より 日前 <1.2.1></p>		
	④. 工事実績情報(CORINS)の登録	<p>適用する(請負精算額が500万円以上の場合) <1.1.4></p> <p>受注時、変更時及び工事完成時にあらかじめ監督職員の確認を受け、契約締結後及び工事完成後の10日以内に登録手続きを行い、工事カルテの受領書を、監督職員に提出すること。</p> <p>・ 適用しない</p>		
	⑤. 発生材の処理等	<p>発生材の処理 <1.3.12></p> <p>・ 引渡しを要するもの()</p> <p>・ 特別管理産業廃棄物()</p> <p>受入れ施設名・所在地(km)</p> <p>・ 現場において再利用を図るもの()</p> <p>○ 再生資源化を図るもの</p>		
	種類	受入施設名	所在地(Km)	備考
	○ コンクリート塊			
	○ アスファルトコンクリート塊			
	・ 建設発生木材			
	・ コンクリートから成る建設資材			
	○その他の廃棄物(安定型)			
	種類	受入施設名	所在地(Km)	備考
	○ ボード類	宮城県環境事業公社	黒川郡大和町鶴巣小鶴沢字大沢5(14km程度)	

・その他の廃棄物(管理型)			
種類	受入施設名	所在地(Km)	備考
上記の処理、処分は設計積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお、上記によらない場合は、監督職員と協議すること。また、処理、処分に先立ち処分場等の受入の可否を確認すること			
PCB(ポリ塩化ビフェニール)含有機器	・ 有(数量は図示)		[5.4.1]
	○ 無		
PCB含有シーリング材	・ 有(施工範囲は図示)		[5.4.1]
	○ 無		
PCBを含有する機器等については、飛散、流失等がないように適切な容器に納め、適切な場所に保管し、工事完了後、監督職員に引き渡す。			
アスベストの処理			
吹き付けアスベスト除去工事	・ 有(図示)		・ 無
受け入れ施設名・所在地(km)			
アスベスト含有保温材除去工事	・ 有(図示)		・ 無
受け入れ施設名・所在地(km)			
アスベスト成形板除去工事	・ 有(図示)		○ 無
受け入れ施設名・所在地(km)			
ヒ素又はカドミウム含有石膏ボードの処理			
ヒ素又はカドミウムボード	・ 有(図示)		・ 無
次に該当する場合は、指定する場所に処分すること。			
<対象となる石膏ボード>			
小名浜吉野石膏(株)	いわき工場	昭和48年10月～平成9年4月の間に製造されたもの	
日東石膏ボード(株)	八戸工場	平成4年10月～平成9年4月の間に製造されたもの	
指定する処分場	【名称:	所在地(km)	】
・ 適用する	適用しない		<1.3.3>
<1.3.10>			
工事の施工中に事故が発生した場合は、直ちに監督職員に通報するとともに、監督職員から指示があった場合は「事故報告書」を指示する期日までに監督職員に提出する。			
材料の品質等 <1.4.2>			
本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能を有するものとし、その材料にJIS又はJASのマークの表示のある場合を除いて監督職員の承諾を受ける。			
特定のものが特記された場合は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。			
環境への配慮 <1.4.1>			
本工事に使用する材料の選定及び施工に当たっては、「県有施設のシックハウスマニュアル」に留意し、揮発性有機化合物の放散による健康への影響に配慮する。			
ホルムアルデヒド仕様			
使用する材料のホルムアルデヒド仕様は以下のとおりとする。			
ホルムアルデヒド放散量 規制対象外 の場合の建築材料			
1) JIS及びJASのF品			
2) 建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品			
3) 次の表示のあるJAS適合品			
a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用			
b. 接着剤等不使用			
c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用			
d. ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用			
e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用			
ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の測定 (1.5.9)<1.7.9>			
試料採取及び測定は、厚生労働省の「室内空気中化学物質の採取方法及び測定方法」の新築住宅の例に準拠するほか、拡散方式ではサンプラー製造所のある仕様により行う。			
測定対象物質			
ホルムアルデヒド(濃度指針値)	100 µg/m3	・ 0.08ppm)	
スルホン(濃度指針値)	220 µg/m3	・ 0.05ppm)	
トルエン(濃度指針値)	260 µg/m3	・ 0.07ppm)	
1,1,1-トリクロロエタン(濃度指針値)	3、800 µg/m3	・ 0.88ppm)	
キシレン(濃度指針値)	200 µg/m3	・ 0.05ppm)	
測定する室等:()			
採取方法: 吸引方式又は拡散方式とし、拡散方式では8時間採取する。			
測定結果等報告書の提出			
次の事項を記載した報告書を1部提出する。			
a 測定結果			
b 試料採取時の状況(気温・湿度(室外・室内)、天候、風の状況、日射進入状況、測定年月日・時間、窓の開閉状況、機械換気量、工事完成時から測定日までの日数)			
c 試料採取方法、測定方法、使用した測定機器			
測定対象物質が指針値を超える濃度で検出された場合は、引渡は受けない。			
・ 総揮発性有機化合物の測定			
測定方法、測定物質及び測定が所等については、この仕様書の末尾に定める総揮発性有機化合物測定仕様書による。			
○ 室内VOC濃度の測定結果に関する書面の当該施設への提示については、施設管理者に依頼する。			
「改修標準仕様書」及び「標準仕様書」に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法とする。			

⑥. 電気保安	
⑦. 事故報告	
⑧. 建築材料等	
9. 室内の空気中の化学物質濃度の測定	
10. 特別な材料の工法	

①. 建築基準法による風圧力等の指定	<p><3.5.4><3.9.3><5.11-13.2><5.14.5>(13.2.3)(13.3.3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>適用工事</th> <th>建築基準法の指定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 合成高分子系ルーフィングシート</td> <td>風速(V0) 30</td> </tr> <tr> <td>・ アルミニウム笠木</td> <td>・ 金属板屋根葺</td> </tr> <tr> <td>・ 折板屋根葺</td> <td>・ ガラスブロック</td> </tr> <tr> <td>・ 重量シャッター</td> <td>・ 軽量シャッター</td> </tr> <tr> <td>・ オーバーヘッドドア</td> <td>・ 屋上緑化</td> </tr> </tbody> </table> <p>図示 ・ 現状平均地盤高</p>	適用工事	建築基準法の指定	・ 合成高分子系ルーフィングシート	風速(V0) 30	・ アルミニウム笠木	・ 金属板屋根葺	・ 折板屋根葺	・ ガラスブロック	・ 重量シャッター	・ 軽量シャッター	・ オーバーヘッドドア	・ 屋上緑化																																										
適用工事	建築基準法の指定																																																						
・ 合成高分子系ルーフィングシート	風速(V0) 30																																																						
・ アルミニウム笠木	・ 金属板屋根葺																																																						
・ 折板屋根葺	・ ガラスブロック																																																						
・ 重量シャッター	・ 軽量シャッター																																																						
・ オーバーヘッドドア	・ 屋上緑化																																																						
12. 設計GL																																																							
③. 施工調査	<p>施工数量調査 <1.6.2></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>調査項目</th> <th>調査範囲</th> <th>調査方法</th> <th>成果品</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・ 既存部分の破壊を行った場合の補修方法は、図示による。 <1.6.3></p> <p>・ 下表で技能士を適用することとした職種に、1級又は単一級技能士を配置する。 <1.7.2></p> <p>・ 下表で技能士を適用することとした職種に、1級、2級又は単一級技能士を配置する。 <1.7.2></p> <p>・ 下表で技能士を適用しないとした職種でも、技能士の配置に努めること。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工事種目</th> <th>技能検定職種(技能検定作業)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>以下の該当工事</td> <td>・ 該当する作業がある以下の職種(作業)の全て</td> </tr> <tr> <td>仮設工事</td> <td>・ とび(とび作業)</td> </tr> <tr> <td>防水改修工事</td> <td>・ 防水施工(アスファルト防水工事作業、ウレタンゴム系塗膜防水工事作業、アクリルゴム系塗膜防水工事作業、合成ゴム系シート防水工事作業、塩化ビニル系シート防水工事作業、セメント系防水工事作業、シーリング防水工事作業、改質アスファルト防水工事作業、FRP防水工事作業)</td> </tr> <tr> <td>外壁改修工事</td> <td>・ 左官(左官作業) ・ タイル張り(タイル張り作業) ・ 樹脂接着剤注入施工(樹脂接着剤注入工事作業) ・ 塗装(建築塗装作業)</td> </tr> <tr> <td>建具改修工事</td> <td>・ サッシ施工(ビル用サッシ施工作業) ・ ガラス施工(ガラス工事作業) ・ 自動ドア施工(自動ドア施工作業)</td> </tr> <tr> <td>内装改修工事</td> <td>・ 内装仕上施工(プラスチック系床仕上工事作業、カーペット系床仕上作業、木質系床仕上工事作業、ボード仕上工事作業、鋼製下地工事作業)</td> </tr> <tr> <td>塗装改修工事</td> <td>・ 表装(壁装作業) ・ 建築大工(大工工事作業)</td> </tr> <tr> <td>耐震改修工事</td> <td>・ 塗装(建築塗装作業) ・ 鉄筋施工(鉄筋組立作業) ・ 型枠施工(型枠工事作業) ・ とび(とび作業) ・ コンクリート圧送施工(コンクリート圧送工事作業)</td> </tr> <tr> <td>コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事</td> <td>・ ブロック建築(コンクリートブロック工事作業) ・ ALCパネル施工(ALCパネル工事作業)</td> </tr> <tr> <td>石工事</td> <td>・ 石材施工(石張り作業)</td> </tr> <tr> <td>排水工事</td> <td>・ 配管(建築配管作業)</td> </tr> <tr> <td>舗装工事</td> <td>・ 路面標示施工(溶融ペイントノーマルマーク工事作業) ・ 加熱ペイントノーマルマーク工事作業</td> </tr> <tr> <td>植栽工事</td> <td>・ 造園(造園工事作業)</td> </tr> <tr> <td>屋根及びとい工事</td> <td>・ 建築板金(内外装板金作業) ・ スレート施工(スレート工事作業)</td> </tr> </tbody> </table>	調査項目	調査範囲	調査方法	成果品																					工事種目	技能検定職種(技能検定作業)	以下の該当工事	・ 該当する作業がある以下の職種(作業)の全て	仮設工事	・ とび(とび作業)	防水改修工事	・ 防水施工(アスファルト防水工事作業、ウレタンゴム系塗膜防水工事作業、アクリルゴム系塗膜防水工事作業、合成ゴム系シート防水工事作業、塩化ビニル系シート防水工事作業、セメント系防水工事作業、シーリング防水工事作業、改質アスファルト防水工事作業、FRP防水工事作業)	外壁改修工事	・ 左官(左官作業) ・ タイル張り(タイル張り作業) ・ 樹脂接着剤注入施工(樹脂接着剤注入工事作業) ・ 塗装(建築塗装作業)	建具改修工事	・ サッシ施工(ビル用サッシ施工作業) ・ ガラス施工(ガラス工事作業) ・ 自動ドア施工(自動ドア施工作業)	内装改修工事	・ 内装仕上施工(プラスチック系床仕上工事作業、カーペット系床仕上作業、木質系床仕上工事作業、ボード仕上工事作業、鋼製下地工事作業)	塗装改修工事	・ 表装(壁装作業) ・ 建築大工(大工工事作業)	耐震改修工事	・ 塗装(建築塗装作業) ・ 鉄筋施工(鉄筋組立作業) ・ 型枠施工(型枠工事作業) ・ とび(とび作業) ・ コンクリート圧送施工(コンクリート圧送工事作業)	コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事	・ ブロック建築(コンクリートブロック工事作業) ・ ALCパネル施工(ALCパネル工事作業)	石工事	・ 石材施工(石張り作業)	排水工事	・ 配管(建築配管作業)	舗装工事	・ 路面標示施工(溶融ペイントノーマルマーク工事作業) ・ 加熱ペイントノーマルマーク工事作業	植栽工事	・ 造園(造園工事作業)	屋根及びとい工事	・ 建築板金(内外装板金作業) ・ スレート施工(スレート工事作業)
調査項目	調査範囲	調査方法	成果品																																																				
工事種目	技能検定職種(技能検定作業)																																																						
以下の該当工事	・ 該当する作業がある以下の職種(作業)の全て																																																						
仮設工事	・ とび(とび作業)																																																						
防水改修工事	・ 防水施工(アスファルト防水工事作業、ウレタンゴム系塗膜防水工事作業、アクリルゴム系塗膜防水工事作業、合成ゴム系シート防水工事作業、塩化ビニル系シート防水工事作業、セメント系防水工事作業、シーリング防水工事作業、改質アスファルト防水工事作業、FRP防水工事作業)																																																						
外壁改修工事	・ 左官(左官作業) ・ タイル張り(タイル張り作業) ・ 樹脂接着剤注入施工(樹脂接着剤注入工事作業) ・ 塗装(建築塗装作業)																																																						
建具改修工事	・ サッシ施工(ビル用サッシ施工作業) ・ ガラス施工(ガラス工事作業) ・ 自動ドア施工(自動ドア施工作業)																																																						
内装改修工事	・ 内装仕上施工(プラスチック系床仕上工事作業、カーペット系床仕上作業、木質系床仕上工事作業、ボード仕上工事作業、鋼製下地工事作業)																																																						
塗装改修工事	・ 表装(壁装作業) ・ 建築大工(大工工事作業)																																																						
耐震改修工事	・ 塗装(建築塗装作業) ・ 鉄筋施工(鉄筋組立作業) ・ 型枠施工(型枠工事作業) ・ とび(とび作業) ・ コンクリート圧送施工(コンクリート圧送工事作業)																																																						
コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事	・ ブロック建築(コンクリートブロック工事作業) ・ ALCパネル施工(ALCパネル工事作業)																																																						
石工事	・ 石材施工(石張り作業)																																																						
排水工事	・ 配管(建築配管作業)																																																						
舗装工事	・ 路面標示施工(溶融ペイントノーマルマーク工事作業) ・ 加熱ペイントノーマルマーク工事作業																																																						
植栽工事	・ 造園(造園工事作業)																																																						
屋根及びとい工事	・ 建築板金(内外装板金作業) ・ スレート施工(スレート工事作業)																																																						
④. 技能士																																																							
⑤. 完成図等	<p>営繕工事完成引渡要領(令和6年4月1日宮城県土木部営繕課・設備課)により作成する。</p> <p>白焼A4版折製本(黒表紙金文字入) 1部</p> <p>白焼縮小(A3版)2つ折製本 2部</p> <p>完成図面 JWW形式又はDXF形式のCADデータ及びPDFデータ DVD-R等2部</p> <p>作成する ・ 作成しない</p> <p>営繕工事写真撮影要領により、完成届に添付する完成写真とは別に次のものを原本(電子媒体)とともに監督職員に提出する。なお、原本は、DVD-R等で提出すること。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>サイズ</th> <th>撮影箇所数</th> <th>部数</th> <th>提出様式</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>カラー・白黒</td> <td>L ・ 2L ・ 六切り</td> <td>営繕工事写真撮影要領の完成写真程度</td> <td>1部 ・ 部</td> <td>工用アルバムA4版ポケット式程度 ・ フリーアルバム(台紙寸法323×270程度)</td> </tr> </tbody> </table> <p>アルバムは、監督職員との協議により紙媒体又は電子媒体とする。</p> <p>施工範囲 各工事の区分表による。</p> <p>施工図 設備機器の位置、取り合い等が検討できる施工図を提出して監督職員の承諾を受ける。</p>	分類	サイズ	撮影箇所数	部数	提出様式	カラー・白黒	L ・ 2L ・ 六切り	営繕工事写真撮影要領の完成写真程度	1部 ・ 部	工用アルバムA4版ポケット式程度 ・ フリーアルバム(台紙寸法323×270程度)																																												
分類	サイズ	撮影箇所数	部数	提出様式																																																			
カラー・白黒	L ・ 2L ・ 六切り	営繕工事写真撮影要領の完成写真程度	1部 ・ 部	工用アルバムA4版ポケット式程度 ・ フリーアルバム(台紙寸法323×270程度)																																																			
⑥. 完成写真																																																							
⑦. 設備工事との取合い																																																							
⑧. 火災保険等	<p>工事目的物及び工事材料等について、次により保険に付す。</p> <p>保険の種類 火災保険 建設工事保険</p> <p>保険期間 工事着手から工事目的物引き渡しまで</p>																																																						
1. 仮囲い	<p>設ける ・ 設けない</p> <p>仮囲いの位置及び延長は図示による。</p> <p>・ キャスターゲート(H=、W=) × 箇所</p> <p>・ シートゲート(H=、W=) × 箇所</p>																																																						
2. 仮設工事	<p>・ 配置する(日 × 人 = 人日) 配置しない</p> <p>・ トラッククレーン(t吊り) × 日</p> <p>・ (t吊り) × 日</p>																																																						

④. 工事表示板	<p>設置する ・ 設置しない</p> <p>営繕工事における工事及びコスト表示要領(令和6年4月1日宮城県土木部営繕課・設備課制定)による。</p>
⑤. 足場等	<p>外部足場 ○設置する (設置範囲) ・ 工事に必要な範囲 <2.2.1> <表2.2.1></p> <p>防護シート ○設置しない (設置範囲) ・ 工事に必要な範囲</p> <p>内部足場 ○設置する (設置範囲) ・ 脚立、足場板等) ・ 設置しない</p> <p>・ 設置しない (設置範囲) ・ 脚立、足場板等)</p> <p>・ 材料、撤去材等の運搬方法</p> <p>種別(・A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種)</p> <p>C種: 利用可能なエレベーター ()</p> <p>D種: 利用可能な階段 ()</p> <p>足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン(厚生労働省平成21年4月策定)」によるものとし、設置については「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」及び「働きやすい安心感のある足場に関する基準」によること。</p>
⑥. 養生	<p>家具及び設備の移動 ・ 行う(図示) ・ 行わない <2.3.1></p> <p>既存ブラインド・カーテン等の養生及び保管 ・ 行う ・ 行わない</p> <p>養生の方法</p> <p>保管場所</p> <p>・ 設ける(図示) ・ A種 ・ B種 ・ C種 <2.3.2><表2.3.2></p>
⑦. 仮設間仕切り	
⑧. 監督職員事務所	<p>設けない(請負者事務所に打合せ会議室を確保する) <2.4.1></p> <p>・ 設ける(規模 m程度 請負者事務所と同棟 ・ 可 ・ 否)</p> <p>備品()</p>
⑨. 工事用水	<p>構内既存の施設 ・ 利用できる(有償 ・ 無償) 利用できない</p>
⑩. 工事用電力	<p>構内既存の施設 ・ 利用できる(有償 ・ 無償) 利用できない</p> <p>溶接などの消費電力の大きな機器を除く</p>
⑪. 工事用通路	<p>指定しない ・ 指定する(図示)</p>
3 土木工事	
①. 埋戻し及び盛土の種別	<p>種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 (3.2.3)(表3.2.1)</p> <p>C種の場合 建設発生土受入数量 m³</p>
②. 建設発生土の処理	<p>○ 構内指示の場所に敷きならす。 (3.2.5)</p> <p>・ 構内指示の場所にたい積する。</p> <p>・ 構外指示の場所に搬出する。</p> <p>受入れ施設名・所在地(km)</p>
3. 有害物質含有調査	<p>・ 有害物質の含有を調査する。</p> <p>調査範囲及び項目 図示</p>
4 地業工事	
①. 砂利地業	<p>材料 砂利 再生クラッシュラン (4.6.2-3)</p> <p>範囲 ・ 基礎下、基礎梁下、土間スラブ下、土間コンクリート下</p> <p>・ 図示による</p> <p>厚さ 60mm</p>
②. 捨コンクリート地業	<p>範囲 ・ 基礎下、基礎梁下、土間スラブ下 ・ 図示による</p> <p>厚さ 50mm</p> <p>設計基準強度 18N/mm²</p> <p>スラブ 15cm</p>
3. 床下防湿層	<p>材料 ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上 (4.6.2)(4.6.5)</p> <p>範囲 ・</p>
4. 地盤改良工法	<p>種類及び施工方法等 ・ 図示による</p>
5. 置換コンクリート地業(ラッフルコンクリート地業)	<p>形状等 ・ 図示による</p> <p>支持地盤 ・ 図示による</p>

株式会社 EAD エンドー建築設計室	DATE.	2025 / 2 /	TITLE.	令和6年度 富谷小学校・日吉台小学校特別教室空調設備設置工事	NO.	A / 2	仙台市宮城野区東山台四丁目3-47 一級建築士 No.131161 遠藤公也
	SUBJECT.	建築工事特記仕様書(1)	SCALE.	non scale			

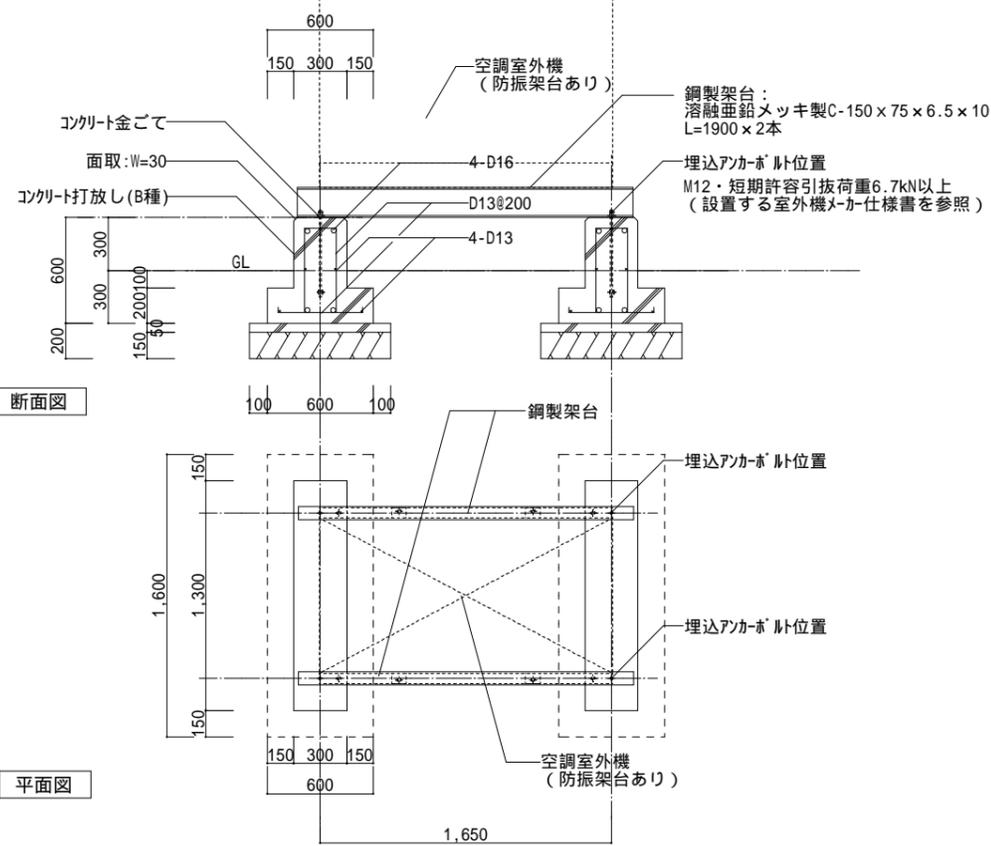
5 鉄筋工事	①. 鉄筋 (5.2.1)	鉄筋の種類等 種類 呼び径 (mm) 備考 S D 2 9 5 D13, D16 S D 3 4 5	7 内装 改修工事	①. 改修範囲 <6.1.3> 既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲 壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・ 図示による 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲 壁面より両側 600mm 程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・ 図示による 既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 既存のまま ・ 図示による 空調機新設に伴う既存天井の一時撤去・改修 ○ 図示による	9. 接合具等 <6.5.3> 造材の化粧面の釘打ち 隠し釘打ち ・ 釘頭埋め木 ・ つぶし頭釘打ち ・ 釘頭現し 諸金物 かすがい、座金、箱金物、短冊金物 (改修標準仕様書表6.5.3-5に示す程度の市販品 表8.20.1のF種程度) (形状: 寸法: 材質:)	⑯. セッコウボード その他のボード 及び合板張り 天井ボード 張替え等	MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 <6.13.2、3> F 合板のホルムアルデヒド放散量 改修標準仕様書6.13.2(2)(イ)の(a)-(d)のいずれか ・ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 F 表面への化粧張り等の加工 図示による		
	2. 溶接金網 (5.2.2)	鉄線の形状等 種類 種類の記号 形状、網目寸法、径(mm) 使用部位 ・ 溶接金網 ・ 鉄筋格子		2. 既存床の撤去 及び下地補修 <6.2.2> ビニル床シート等の除去 仕上材のみ(接着剤とも) ・ 下地モルタルとも(・ 図示による ・ 除去範囲全て) 合成樹脂塗床材の除去工法 ・ 機械的除去工法 ・ 目荒し工法 既存のコンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4章外装改修工事による。	10. 接着剤 <6.5.3、4> F ・ ・ 薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理 <6.5.5> 適用部材 保存処理性能区分 ・ K2 ・ K3 ・ K4 ・ K2 ・ K3 ・ K4 ・ K2 ・ K3 ・ K4		MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 <6.13.2、3> F 合板のホルムアルデヒド放散量 改修標準仕様書6.13.2(2)(イ)の(a)-(d)のいずれか ・ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 F 表面への化粧張り等の加工 図示による		
	③. 鉄筋の継手 (5.3.4)	鉄筋の継手の方法等 種類 種類の記号 継手の方法 呼び径 (mm) 柱、梁の主筋 ガス圧接 ・ 機械式継手 D19以上 ・ 溶接継手 ・ 重ね継手 耐力壁の鉄筋 重ね継手 ・ D16以下 その他の鉄筋() ・ 重ね継手 ・		3. 既存壁の撤去 及び下地補修 <6.3.2> 間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 改修標準仕様書4.3.10によるモルタル塗り (全塗厚が25mmを超える場合の処置 図示による)	11. 防腐・防蟻 処理 <6.5.5> ・ 薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理 適用部材 保存処理性能区分 ・ K2 ・ K3 ・ K4 ・ K2 ・ K3 ・ K4 ・ K2 ・ K3 ・ K4			MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 <6.13.2、3> F 合板のホルムアルデヒド放散量 改修標準仕様書6.13.2(2)(イ)の(a)-(d)のいずれか ・ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 F 表面への化粧張り等の加工 図示による	
	④. 鉄筋の定着 (5.3.4)	鉄筋の定着長さ 図示による		4. 施工一般 <6.5.2> 材料のホルムアルデヒド放散量 F 又は改修標準仕様書6.5.2(1)(イ)(b)による	12. 内部間仕切軸 組及び床組み <6.5.6> ・ 間仕切軸組に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合) 杉又は松 ・ 床組みに用いる木材の樹種名(製材を用いる場合) 杉又は松				MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 <6.13.2、3> F 合板のホルムアルデヒド放散量 改修標準仕様書6.13.2(2)(イ)の(a)-(d)のいずれか ・ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 F 表面への化粧張り等の加工 図示による
	⑤. 鉄筋のかぶり 厚さ及び間隔 (溶接金網含む) (5.3.5)	最小かぶり厚さ 図示による 軽量コンクリートを適用する場合 ・ 有り(図示による) 適用箇所() 耐久性上不利な箇所がある場合(塩害等を受けるおそれのある部分等) ・ 有り(図示による) 適用箇所()		5. 合板等 <6.5.2> ○ 「合板の日本農林規格」による普通合板 施工箇所 厚さ (mm) 単板の樹種名 接着の程度 板面の品質 防虫処理 天井 5.5 シナ合板 1類 ・ 2類 広葉樹 2等以上 ・ 1等 針葉樹 C-D以上 ・ ・ 適用する ・ 適用しない	13. 窓、出入口 その他 <6.5.7> ・ 窓、出入口その他に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合) 吊元枠、水掛りの下枠及び敷居はひのき、その他は松又は杉 ・				
①. コンクリートの種類 (6.2.1)(表6.2.1)	種 別 類 類 (6.2.1)(表6.2.1)	②. 設計基準強度 (6.2.2)	普通コンクリート F c (N/mm ²) 適用箇所 ・ 2 4 ○ 2 1 空調屋外機基礎 ○ 1 8 捨てコンクリート 構造体強度補正值 標準仕様書表6.3.2による 軽量コンクリート F c (N/mm ²) 適用箇所	14. 軽量鉄骨天井 下地 <6.6.2-4> 野縁等の種類 屋外 25形 ・ 19形 屋外 19形 ・ 25形 屋外の形式及び寸法 野縁受、つりボルト及びインサートの間隔 ・ 図示による ・ 周辺部の端からの間隔 ・ 図示による 野縁の間隔 ・ 図示による 既存の埋込みインサート ・ 使用する ・ 使用しない あと施工アンカーの施工後の確認試験 ・ 行う 試験箇所数 屋内の場合、当該階において3箇所 ・ ()箇所 引張試験にて確認する強度 吊りボルト受け等の間隔が900mm程度以下かつ天井面積 成部材等の単位面積あたりの質量が20kg/m ² 以内の天井の 場合は400N程度 ・ ()N 行わない ・ つりボルトの間隔が900mmを超える場合 (補強方法 図示による) ・ 天井のふところが3.0mを超える場合 (補強方法 図示による) ・ 天井下地材における耐震性を考慮した補強 (補強箇所 図示による) (補強方法 図示による)	MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 <6.13.2、3> F 合板のホルムアルデヒド放散量 改修標準仕様書6.13.2(2)(イ)の(a)-(d)のいずれか ・ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 F 表面への化粧張り等の加工 図示による				
②. 設計基準強度 (6.2.2)	普通コンクリート F c (N/mm ²) 適用箇所 ・ 2 4 ○ 2 1 空調屋外機基礎 ○ 1 8 捨てコンクリート 構造体強度補正值 標準仕様書表6.3.2による 軽量コンクリート F c (N/mm ²) 適用箇所	③. スランプ (6.2.4)(表6.2.2)	基礎、基礎梁、土間スラブ ○ 15 cm ・ 18 cm 柱、梁、スラブ、壁 18 cm	15. 軽量鉄骨壁 下地 <6.7.3、4><表6.7.1> スタッド、ランナーの種類 改修標準仕様書表6.7.1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類 ・ 図示による スタッドの高さが5.0mを超える場合 図示による 出入口及びこれに準ずる開口部の補強 改修標準仕様書6.7.4(5)による		MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 <6.13.2、3> F 合板のホルムアルデヒド放散量 改修標準仕様書6.13.2(2)(イ)の(a)-(d)のいずれか ・ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 F 表面への化粧張り等の加工 図示による			
③. スランプ (6.2.4)(表6.2.2)	基礎、基礎梁、土間スラブ ○ 15 cm ・ 18 cm 柱、梁、スラブ、壁 18 cm	④. セメントの種類 (6.3.1)	セメントの種類 適用箇所 普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、 シラセメント種又はフライッシュセメントA種 建物躯体(下記以外) ・ 高炉セメントB種 基礎、地中梁 ・ フライッシュセメントB種 基礎、地中梁	④. セメントの種類 (6.3.1)			MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 <6.13.2、3> F 合板のホルムアルデヒド放散量 改修標準仕様書6.13.2(2)(イ)の(a)-(d)のいずれか ・ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 F 表面への化粧張り等の加工 図示による		
④. セメントの種類 (6.3.1)	セメントの種類 適用箇所 普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、 シラセメント種又はフライッシュセメントA種 建物躯体(下記以外) ・ 高炉セメントB種 基礎、地中梁 ・ フライッシュセメントB種 基礎、地中梁	⑤. 骨材 (6.3.1)	アルカリシリカ反応性による区分 ・ A ・ B	⑤. 骨材 (6.3.1)				MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 <6.13.2、3> F 合板のホルムアルデヒド放散量 改修標準仕様書6.13.2(2)(イ)の(a)-(d)のいずれか ・ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 F 表面への化粧張り等の加工 図示による	
⑤. 骨材 (6.3.1)	アルカリシリカ反応性による区分 ・ A ・ B	6. 軽量 コンクリート (6.10.1)(表6.10.1)	種類 ・ 1種 ・ 2種	6. 軽量 コンクリート (6.10.1)(表6.10.1)					MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 <6.13.2、3> F 合板のホルムアルデヒド放散量 改修標準仕様書6.13.2(2)(イ)の(a)-(d)のいずれか ・ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 F 表面への化粧張り等の加工 図示による
6. 軽量 コンクリート (6.10.1)(表6.10.1)	種類 ・ 1種 ・ 2種	7. 無筋 コンクリート (6.14.1)	適用箇所 ・ 標準仕様書6.14.1(4)による箇所 ・ 標準仕様書6.14.1(4)以外の箇所 ・ 図示による	7. 無筋 コンクリート (6.14.1)	MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 <6.13.2、3> F 合板のホルムアルデヒド放散量 改修標準仕様書6.13.2(2)(イ)の(a)-(d)のいずれか ・ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 F 表面への化粧張り等の加工 図示による				
7. 無筋 コンクリート (6.14.1)	適用箇所 ・ 標準仕様書6.14.1(4)による箇所 ・ 標準仕様書6.14.1(4)以外の箇所 ・ 図示による	8. 打継ぎの位置、 ひび割れ誘発 目地、打継目地 (6.6.4)(6.8.1)(9.7.3)	打継ぎの位置 標準仕様書6.6.4(1)による ・ 図示による 目地寸法 標準仕様書9.7.3(1)(ア)による ・ 図示による ひび割れ誘発目地の位置・形状・寸法 ・ 図示による	8. 打継ぎの位置、 ひび割れ誘発 目地、打継目地 (6.6.4)(6.8.1)(9.7.3)		MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 <6.13.2、3> F 合板のホルムアルデヒド放散量 改修標準仕様書6.13.2(2)(イ)の(a)-(d)のいずれか ・ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 F 表面への化粧張り等の加工 図示による			
8. 打継ぎの位置、 ひび割れ誘発 目地、打継目地 (6.6.4)(6.8.1)(9.7.3)	打継ぎの位置 標準仕様書6.6.4(1)による ・ 図示による 目地寸法 標準仕様書9.7.3(1)(ア)による ・ 図示による ひび割れ誘発目地の位置・形状・寸法 ・ 図示による	9. 打増し厚さ (打放し仕上げ部) (6.8.1)	・ 打放し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る) ・ 20mm ・ 打放し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る) ・ 10mm ・ 20mm	9. 打増し厚さ (打放し仕上げ部) (6.8.1)			MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 <6.13.2、3> F 合板のホルムアルデヒド放散量 改修標準仕様書6.13.2(2)(イ)の(a)-(d)のいずれか ・ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 F 表面への化粧張り等の加工 図示による		
9. 打増し厚さ (打放し仕上げ部) (6.8.1)	・ 打放し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る) ・ 20mm ・ 打放し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る) ・ 10mm ・ 20mm	⑩. 型枠 (6.8.2)	せき板の材料及び厚さ ・ 合板(12mm) ・ 断熱材を兼用した型枠材 使用箇所 図示による ・ MCR工法用シート 適用箇所 図示による 打増し厚さ ・ 20mm 打増し範囲 図示による スリーブの材種・規格等 ・ 図示による ○ 打放し仕上げの種類 ・ A種 ○ B種 ・ C種	⑩. 型枠 (6.8.2)				MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 <6.13.2、3> F 合板のホルムアルデヒド放散量 改修標準仕様書6.13.2(2)(イ)の(a)-(d)のいずれか ・ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 F 表面への化粧張り等の加工 図示による	
⑩. 型枠 (6.8.2)	せき板の材料及び厚さ ・ 合板(12mm) ・ 断熱材を兼用した型枠材 使用箇所 図示による ・ MCR工法用シート 適用箇所 図示による 打増し厚さ ・ 20mm 打増し範囲 図示による スリーブの材種・規格等 ・ 図示による ○ 打放し仕上げの種類 ・ A種 ○ B種 ・ C種	天井のボード類(ロックウール吸音板を除く)の重ね張りを行う場合 図示による 合板類の張付け A種 ・ B種 せッコウボードの目地工法等 目地工法の種類 仕上表による 突付け工法及び目透し工法のエッジの種類 ・ ベベルエッジ ・ スクエアエッジ 化粧加工の方法(・ オール・レイ ・ フリット ・ 塗装 ・)	天井のボード類(ロックウール吸音板を除く)の重ね張りを行う場合 図示による 合板類の張付け A種 ・ B種 せッコウボードの目地工法等 目地工法の種類 仕上表による 突付け工法及び目透し工法のエッジの種類 ・ ベベルエッジ ・ スクエアエッジ 化粧加工の方法(・ オール・レイ ・ フリット ・ 塗装 ・)						

8 塗装 改修 工事	①. 材料	屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 F 防火材料 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。 ・次の箇所を除き防火材料とする。(箇所:)	<7.1.3>																																																																						
	2. 下地調整	塗替えRB種の場合の既存塗膜の除去範囲 劣化部分は除去し、活膜部分は残す ・図示による ・ 既存錆止め塗料の鉛含有量調査 ・行う(箇所) ・行わない 下地調整	<7.2.1~7>																																																																						
③. 素地ごしらえ	<table border="1"> <thead> <tr> <th>下地面の種類</th> <th>下地調整の種類 塗替え</th> <th>ひび割れ部の補修</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>木部</td> <td>不透明塗料塗りの場合はRB種</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>RB種</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面</td> <td>RB種</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具等)</td> <td>RB種</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>モルタル面及び せつこうプaster面</td> <td>RB種</td> <td>・行う ・行わない</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面(DP以外) ALCパネル面</td> <td>RB種</td> <td>・行う ・行わない</td> </tr> <tr> <td>押出成形セメント板面</td> <td>・RA種 ・RB種</td> <td>・行う ・行わない</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面(DP)</td> <td>・RB種 ・RC種</td> <td>・行う ・行わない</td> </tr> <tr> <td>せつこうボード面及び その他ボード面</td> <td>RB種</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>			下地面の種類	下地調整の種類 塗替え	ひび割れ部の補修	木部	不透明塗料塗りの場合はRB種	-	鉄鋼面	RB種	-	亜鉛めっき鋼面	RB種	-	亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具等)	RB種	-	モルタル面及び せつこうプaster面	RB種	・行う ・行わない	コンクリート面(DP以外) ALCパネル面	RB種	・行う ・行わない	押出成形セメント板面	・RA種 ・RB種	・行う ・行わない	コンクリート面(DP)	・RB種 ・RC種	・行う ・行わない	せつこうボード面及び その他ボード面	RB種	-																																								
	下地面の種類	下地調整の種類 塗替え	ひび割れ部の補修																																																																						
木部	不透明塗料塗りの場合はRB種	-																																																																							
鉄鋼面	RB種	-																																																																							
亜鉛めっき鋼面	RB種	-																																																																							
亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具等)	RB種	-																																																																							
モルタル面及び せつこうプaster面	RB種	・行う ・行わない																																																																							
コンクリート面(DP以外) ALCパネル面	RB種	・行う ・行わない																																																																							
押出成形セメント板面	・RA種 ・RB種	・行う ・行わない																																																																							
コンクリート面(DP)	・RB種 ・RC種	・行う ・行わない																																																																							
せつこうボード面及び その他ボード面	RB種	-																																																																							
4. 錆止め塗料 塗り	<table border="1"> <thead> <tr> <th>下地面等</th> <th>塗料の種類</th> <th>種別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>木部</td> <td>不透明塗料塗りの場合</td> <td>A種 B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>透明塗料塗りの場合</td> <td>B種 C種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面(DP以外)</td> <td></td> <td>C種 A種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面(DP)</td> <td></td> <td>B種 A種</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面</td> <td></td> <td>A種 B種</td> </tr> <tr> <td>モルタル面及びせつこうプaster面</td> <td></td> <td>B種 A種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面(DP以外)及びALCパネル面</td> <td></td> <td>B種 A種</td> </tr> <tr> <td>押出成形セメント板面及びコンクリート面(DP)</td> <td></td> <td>A種 B種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面(DPのみ)</td> <td></td> <td>B種 A種</td> </tr> <tr> <td>せつこうボード面及び その他ボード面</td> <td>目地: 継目処理工法</td> <td>A種 B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>目地: 継目処理工法以外</td> <td>B種 A種</td> </tr> </tbody> </table>			下地面等	塗料の種類	種別	木部	不透明塗料塗りの場合	A種 B種		透明塗料塗りの場合	B種 C種	鉄鋼面(DP以外)		C種 A種	鉄鋼面(DP)		B種 A種	亜鉛めっき鋼面		A種 B種	モルタル面及びせつこうプaster面		B種 A種	コンクリート面(DP以外)及びALCパネル面		B種 A種	押出成形セメント板面及びコンクリート面(DP)		A種 B種	コンクリート面(DPのみ)		B種 A種	せつこうボード面及び その他ボード面	目地: 継目処理工法	A種 B種		目地: 継目処理工法以外	B種 A種																																		
下地面等	塗料の種類	種別																																																																							
木部	不透明塗料塗りの場合	A種 B種																																																																							
	透明塗料塗りの場合	B種 C種																																																																							
鉄鋼面(DP以外)		C種 A種																																																																							
鉄鋼面(DP)		B種 A種																																																																							
亜鉛めっき鋼面		A種 B種																																																																							
モルタル面及びせつこうプaster面		B種 A種																																																																							
コンクリート面(DP以外)及びALCパネル面		B種 A種																																																																							
押出成形セメント板面及びコンクリート面(DP)		A種 B種																																																																							
コンクリート面(DPのみ)		B種 A種																																																																							
せつこうボード面及び その他ボード面	目地: 継目処理工法	A種 B種																																																																							
	目地: 継目処理工法以外	B種 A種																																																																							
⑤. 塗装	<table border="1"> <thead> <tr> <th>素地面</th> <th>塗装の種類</th> <th>塗料の種類</th> <th>工程の種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">鉄鋼面</td> <td rowspan="3">SOP (工程の種類は表7.4.3)</td> <td>塗替え</td> <td>A種 C種</td> </tr> <tr> <td>新規見え掛り</td> <td>A種 A種</td> </tr> <tr> <td>新規見え隠れ</td> <td>A種 B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">EP-G (工程の種類は表7.4.3)</td> <td>塗替え</td> <td>B種 A種</td> <td>C種</td> </tr> <tr> <td>新規見え掛り</td> <td>B種 A種</td> <td>A種</td> </tr> <tr> <td>新規見え隠れ</td> <td>B種 A種</td> <td>B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">DP (工程の種類は表7.4.4)</td> <td>塗替え</td> <td>7.4.2(1)(イ) (b)による。</td> <td>B種(下地調整RB種) C種(下地調整RC種)</td> </tr> <tr> <td>新規</td> <td>7.4.2(1)(イ) (a)による。</td> <td>A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">亜鉛 めっき 鋼面</td> <td rowspan="2">SOP (工程の種類は表7.4.5)</td> <td>塗替え</td> <td>A種 B種</td> </tr> <tr> <td>新規鋼製建具等 規 其他</td> <td>A種 B種</td> </tr> <tr> <td>EP-G (工程の種類は表7.4.5)</td> <td>塗替え</td> <td>C種 C種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">DP (工程の種類は表7.4.6)</td> <td>新規鋼製建具等 規 其他</td> <td>C種 C種</td> <td>B種</td> </tr> <tr> <td>塗替え</td> <td>B種</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td></td> <td>新規</td> <td>B種</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>			素地面	塗装の種類	塗料の種類	工程の種類	鉄鋼面	SOP (工程の種類は表7.4.3)	塗替え	A種 C種	新規見え掛り	A種 A種	新規見え隠れ	A種 B種	EP-G (工程の種類は表7.4.3)	塗替え	B種 A種	C種	新規見え掛り	B種 A種	A種	新規見え隠れ	B種 A種	B種	DP (工程の種類は表7.4.4)	塗替え	7.4.2(1)(イ) (b)による。	B種(下地調整RB種) C種(下地調整RC種)	新規	7.4.2(1)(イ) (a)による。	A種	亜鉛 めっき 鋼面	SOP (工程の種類は表7.4.5)	塗替え	A種 B種	新規鋼製建具等 規 其他	A種 B種	EP-G (工程の種類は表7.4.5)	塗替え	C種 C種	DP (工程の種類は表7.4.6)	新規鋼製建具等 規 其他	C種 C種	B種	塗替え	B種	-		新規	B種	-																					
素地面	塗装の種類	塗料の種類	工程の種類																																																																						
鉄鋼面	SOP (工程の種類は表7.4.3)	塗替え	A種 C種																																																																						
		新規見え掛り	A種 A種																																																																						
		新規見え隠れ	A種 B種																																																																						
	EP-G (工程の種類は表7.4.3)	塗替え	B種 A種	C種																																																																					
		新規見え掛り	B種 A種	A種																																																																					
		新規見え隠れ	B種 A種	B種																																																																					
DP (工程の種類は表7.4.4)	塗替え	7.4.2(1)(イ) (b)による。	B種(下地調整RB種) C種(下地調整RC種)																																																																						
	新規	7.4.2(1)(イ) (a)による。	A種																																																																						
亜鉛 めっき 鋼面	SOP (工程の種類は表7.4.5)	塗替え	A種 B種																																																																						
		新規鋼製建具等 規 其他	A種 B種																																																																						
	EP-G (工程の種類は表7.4.5)	塗替え	C種 C種																																																																						
DP (工程の種類は表7.4.6)	新規鋼製建具等 規 其他	C種 C種	B種																																																																						
	塗替え	B種	-																																																																						
	新規	B種	-																																																																						
<7.5.2~7.12.2>																																																																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">塗装の種類</th> <th rowspan="2">塗装面</th> <th colspan="2">工程</th> </tr> <tr> <th>塗替え</th> <th>新規</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">・合成樹脂調 合ベイント 塗り(SOP) 種類 1種 ・2種</td> <td>木部屋外</td> <td>B種</td> <td>A種</td> </tr> <tr> <td>木部屋内</td> <td>B種</td> <td>B種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>B種</td> <td>B種 A種</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面(鋼製建具) 1種 亜鉛めっき鋼面(鋼製建具以外)</td> <td>A種</td> <td>B種 B種</td> </tr> <tr> <td>・クリヤラッカー塗り(CL)</td> <td></td> <td>B種 A種</td> <td>B種 A種</td> </tr> <tr> <td>・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD)</td> <td></td> <td>B種</td> <td>A種 B種 A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・耐候性塗料 塗り(DP)</td> <td>鉄鋼面 上塗り等級()級</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面 上塗り等級()級</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・つや有合成 樹脂エマルジョン ペイント塗り (EP-G)</td> <td>コンクリート面及び 押出成形セメント板面</td> <td>-</td> <td>A-1種 B-1種 C-1種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面等</td> <td>B種</td> <td>B種 A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・合成樹脂エマルジョン ペイント塗り (EP-G)</td> <td>屋内の木部</td> <td>B種</td> <td>A種</td> </tr> <tr> <td>屋内の鉄鋼面</td> <td>B種</td> <td>B種 A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・合成樹脂エマルジョン ペイント塗り(EP)</td> <td>屋内の亜鉛めっき面</td> <td>A種</td> <td>A種 B種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面等</td> <td>B種</td> <td>B種 A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ウレタン樹脂ニス塗り(UC)</td> <td>コンクリート面等</td> <td>B種</td> <td>B種 A種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面等</td> <td>B種</td> <td>B種 A種</td> </tr> <tr> <td>・ステン塗り</td> <td></td> <td>-</td> <td>・ビグメントステン塗り ・オイルステン塗り(OS)</td> </tr> <tr> <td>・木材保護塗料塗り(WP)</td> <td></td> <td>B種 A種</td> <td>B種 A種</td> </tr> </tbody> </table>				塗装の種類	塗装面	工程		塗替え	新規	・合成樹脂調 合ベイント 塗り(SOP) 種類 1種 ・2種	木部屋外	B種	A種	木部屋内	B種	B種	鉄鋼面	B種	B種 A種	亜鉛めっき鋼面(鋼製建具) 1種 亜鉛めっき鋼面(鋼製建具以外)	A種	B種 B種	・クリヤラッカー塗り(CL)		B種 A種	B種 A種	・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD)		B種	A種 B種 A種	・耐候性塗料 塗り(DP)	鉄鋼面 上塗り等級()級	-	-	亜鉛めっき鋼面 上塗り等級()級	-	-	・つや有合成 樹脂エマルジョン ペイント塗り (EP-G)	コンクリート面及び 押出成形セメント板面	-	A-1種 B-1種 C-1種	コンクリート面等	B種	B種 A種	・合成樹脂エマルジョン ペイント塗り (EP-G)	屋内の木部	B種	A種	屋内の鉄鋼面	B種	B種 A種	・合成樹脂エマルジョン ペイント塗り(EP)	屋内の亜鉛めっき面	A種	A種 B種	コンクリート面等	B種	B種 A種	・ウレタン樹脂ニス塗り(UC)	コンクリート面等	B種	B種 A種	コンクリート面等	B種	B種 A種	・ステン塗り		-	・ビグメントステン塗り ・オイルステン塗り(OS)	・木材保護塗料塗り(WP)		B種 A種	B種 A種
塗装の種類	塗装面	工程																																																																							
		塗替え	新規																																																																						
・合成樹脂調 合ベイント 塗り(SOP) 種類 1種 ・2種	木部屋外	B種	A種																																																																						
	木部屋内	B種	B種																																																																						
	鉄鋼面	B種	B種 A種																																																																						
	亜鉛めっき鋼面(鋼製建具) 1種 亜鉛めっき鋼面(鋼製建具以外)	A種	B種 B種																																																																						
・クリヤラッカー塗り(CL)		B種 A種	B種 A種																																																																						
・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD)		B種	A種 B種 A種																																																																						
・耐候性塗料 塗り(DP)	鉄鋼面 上塗り等級()級	-	-																																																																						
	亜鉛めっき鋼面 上塗り等級()級	-	-																																																																						
・つや有合成 樹脂エマルジョン ペイント塗り (EP-G)	コンクリート面及び 押出成形セメント板面	-	A-1種 B-1種 C-1種																																																																						
	コンクリート面等	B種	B種 A種																																																																						
・合成樹脂エマルジョン ペイント塗り (EP-G)	屋内の木部	B種	A種																																																																						
	屋内の鉄鋼面	B種	B種 A種																																																																						
・合成樹脂エマルジョン ペイント塗り(EP)	屋内の亜鉛めっき面	A種	A種 B種																																																																						
	コンクリート面等	B種	B種 A種																																																																						
・ウレタン樹脂ニス塗り(UC)	コンクリート面等	B種	B種 A種																																																																						
	コンクリート面等	B種	B種 A種																																																																						
・ステン塗り		-	・ビグメントステン塗り ・オイルステン塗り(OS)																																																																						
・木材保護塗料塗り(WP)		B種 A種	B種 A種																																																																						

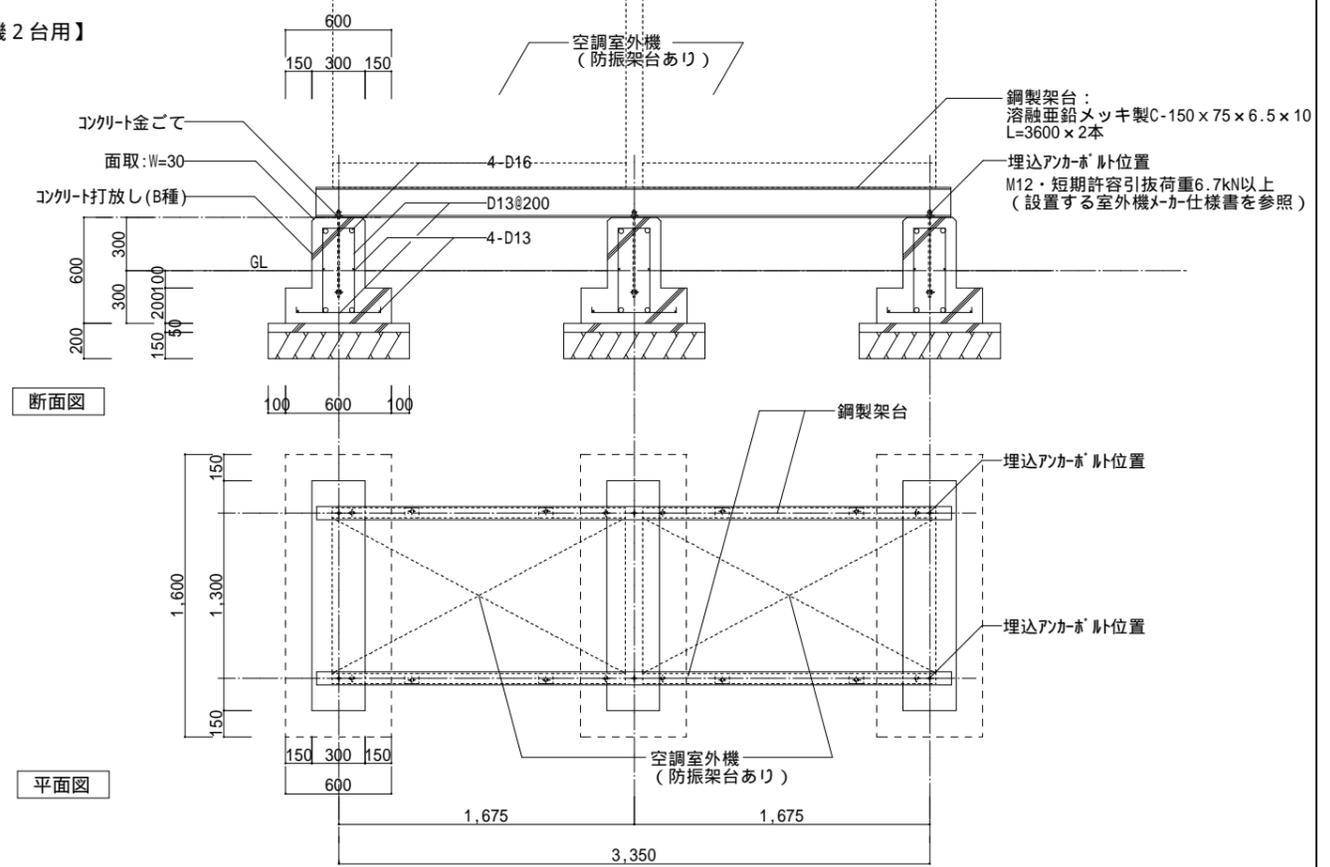
10 ユニット 及び その 他の 工事	⑦. 天井点検口	つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り(コンクリート面、EP面、せつこうプaster面、せつこうボード面、その他ボード面)の塗替えの場合のしき止め B種又はC種の場合は、改修標準仕様書表7.9.1の工程1の下塗りをしき止めシーとする 合成樹脂エマルジョンペイント塗りの塗替えの場合のしき止め B種又はC種の場合は、改修標準仕様書表7.10.1の工程1の下塗りをしき止めシーとする クリヤラッカー塗りA種の工程2の適用 ・適用しない ・適用する(着色剤: 溶剤系着色剤 油性系着色剤) ウレタン樹脂ニス塗りの工程1の着色の適用 ・適用する ・適用しない オイルステン塗りの工程等																																				
	⑨. フェンス	フェンスの種類 ・ビニル被覆エキスバンドフェンス ・樹脂塗装メッシュフェンス ・鋼管フェンス ・アルミフェンス 高さ ・図示による ○ 1,800mm																																				
23 植栽 及び 屋上 緑化 工事	1. 植栽地の確認等	土壌の水素イオン濃度指数(pH)試験 (23.1.3) ・行う ・行わない 電気伝導度(EC)の試験 ・行う ・行わない																																				
	2. 植栽基盤の整備	樹木の植栽基盤の整備 (23.2.2、4) ・適用する ・適用しない <table border="1"> <thead> <tr> <th>植栽</th> <th>工法</th> <th>有効土層の厚さ(mm)</th> <th>整備範囲</th> <th>土壌改良材</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">・樹木</td> <td>A種</td> <td>樹高12m以上</td> <td>・葉張り部分</td> <td>・適用する</td> </tr> <tr> <td>B種</td> <td>(100 120 150)</td> <td>・植栽部分</td> <td>・適用しない</td> </tr> <tr> <td>C種</td> <td>樹高7m以上~12m未満 (80 100)</td> <td>・図示による</td> <td></td> </tr> <tr> <td>D種</td> <td>樹高3m以上~7m未満 (60 80)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>樹高3m未満 (50 60)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>芝、地被類</td> <td>B種</td> <td>20</td> <td>・植栽部分</td> <td>・適用する</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・図示による</td> <td>・適用しない</td> </tr> </tbody> </table>	植栽	工法	有効土層の厚さ(mm)	整備範囲	土壌改良材	・樹木	A種	樹高12m以上	・葉張り部分	・適用する	B種	(100 120 150)	・植栽部分	・適用しない	C種	樹高7m以上~12m未満 (80 100)	・図示による		D種	樹高3m以上~7m未満 (60 80)					樹高3m未満 (50 60)			芝、地被類	B種	20	・植栽部分	・適用する				・図示による
植栽	工法	有効土層の厚さ(mm)	整備範囲	土壌改良材																																		
・樹木	A種	樹高12m以上	・葉張り部分	・適用する																																		
	B種	(100 120 150)	・植栽部分	・適用しない																																		
	C種	樹高7m以上~12m未満 (80 100)	・図示による																																			
	D種	樹高3m以上~7m未満 (60 80)																																				
		樹高3m未満 (50 60)																																				
芝、地被類	B種	20	・植栽部分	・適用する																																		
			・図示による	・適用しない																																		
5 樹木	3. 植込み用土	現場発生土の良質土 (23.2.3) ・客土																																				
	4. 土壌改良材	種類及び指定量等 (23.2.3) ・パーク堆肥 ・汚泥発酵肥料(下水汚泥コンポスト) 施工箇所 植栽範囲 ・図示による 使用量 植栽基盤面積1㎡あたり(・50L) ・汚泥発酵肥料(下水汚泥コンポスト) 施工箇所 植栽範囲 ・図示による 使用量 植栽基盤面積1㎡あたり(・10L)																																				
7 幹巻き 用材料	5. 樹木	樹種、寸法、株立数等 (23.3.2) 図示による																																				
	6. 支柱	支柱材 (23.3.2、3) 丸太(間伐材) 真竹 防腐処理方法 加圧式防腐処理丸太材 形式 ・図示による																																				
8 芝	7. 幹巻き用材料	材料 (23.3.2) 幹巻き用テープ ーわら及びこも																																				
	8. 芝	種類 (23.4.2、3) コウライシバ ノシバ 芝張りの工法 平地 目地張り べた張り 法面 べた張り法面 目地張り																																				
9 吹付け は種	9. 吹付けは種 (23.4.2)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種子の種類</th> <th>発芽率</th> <th>種子の量(g/m)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>洋芝類(採取後2年以内)</td> <td>発芽率80%以上</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種子の種類	発芽率	種子の量(g/m)	備考	洋芝類(採取後2年以内)	発芽率80%以上																														
	種子の種類	発芽率	種子の量(g/m)	備考																																		
洋芝類(採取後2年以内)	発芽率80%以上																																					
10. 地被類 (23.4.2)																																						

10. 地被類 (23.4.2)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>樹種</th> <th>コンテナ径</th> <th>単位面積当たりのコンテナ数</th> <th>芽立数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				樹種	コンテナ径	単位面積当たりのコンテナ数	芽立数				
	樹種	コンテナ径	単位面積当たりのコンテナ数	芽立数								
11. 新植、芝等の 枯補償、移植 樹木の枯損処置	(23.3.4、6) (23.4.7)(23.5.5) 新植樹木(芝張り、吹付けは種及び地被類を含む)の 枯補償の期間 引渡しの日から1年 無し 移植樹木の枯損処置を行う期間 引渡しの日から1年 無し											

【室外機 1 台用】



【室外機 2 台用】

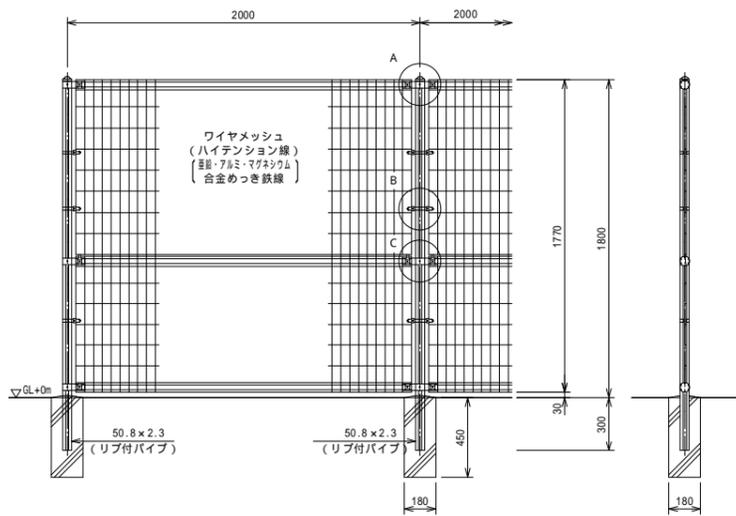


メッシュフェンス詳細図

既設同等品とする

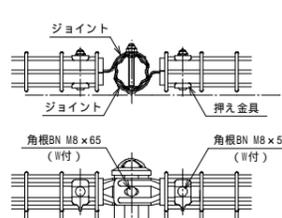
UN - A 1800 L - 50 S=1:20

(昭和57年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力 GL+0m に依る)

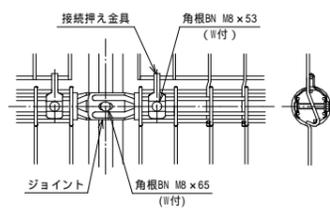


- 設計条件
設計荷重... 昭和57年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力に依る。
基礎条件... 長期許容地耐力 98 kN/m² (10 t/m²)
- 備考
1. 外装について
・支柱、ジョイント... 亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上高耐候性樹脂粉末塗装
・ワイヤメッシュ... 亜鉛・アルミ合金めっきの上高耐候性樹脂粉末塗装
・バンド... 亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上防錆着色処理
・U型金具... 亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上防錆着色処理
・ボルト、ナット... 溶融亜鉛めっきの上防錆着色処理

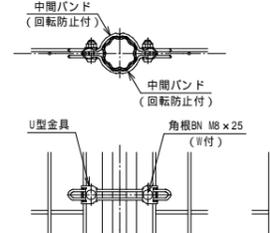
A部取付図 S=1:5



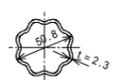
C部取付図 S=1:5



B部取付図 S=1:5

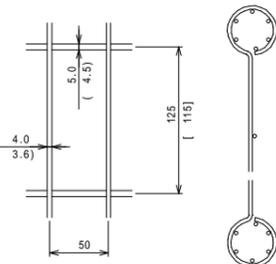


リブ付パイプ断面図 S=1:3



ワイヤメッシュ図

() 内は芯径を示す。
[] 内は下部パネルを示す。

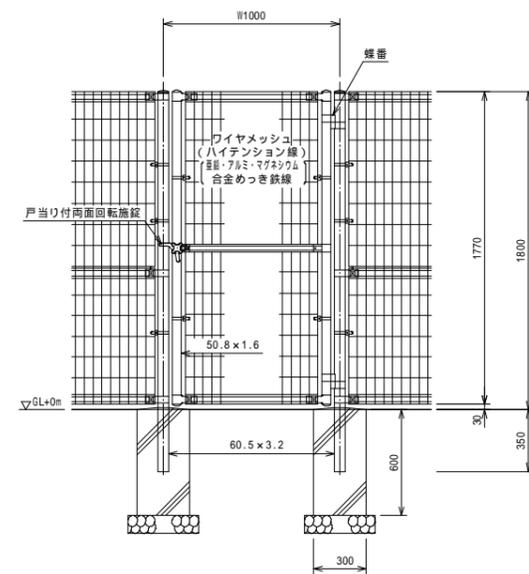


パネル断面図



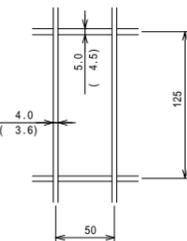
H 1800 - 50 x W 1000

(昭和57年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力 GL+0m に依る)

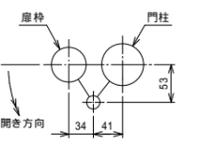


ワイヤメッシュ図

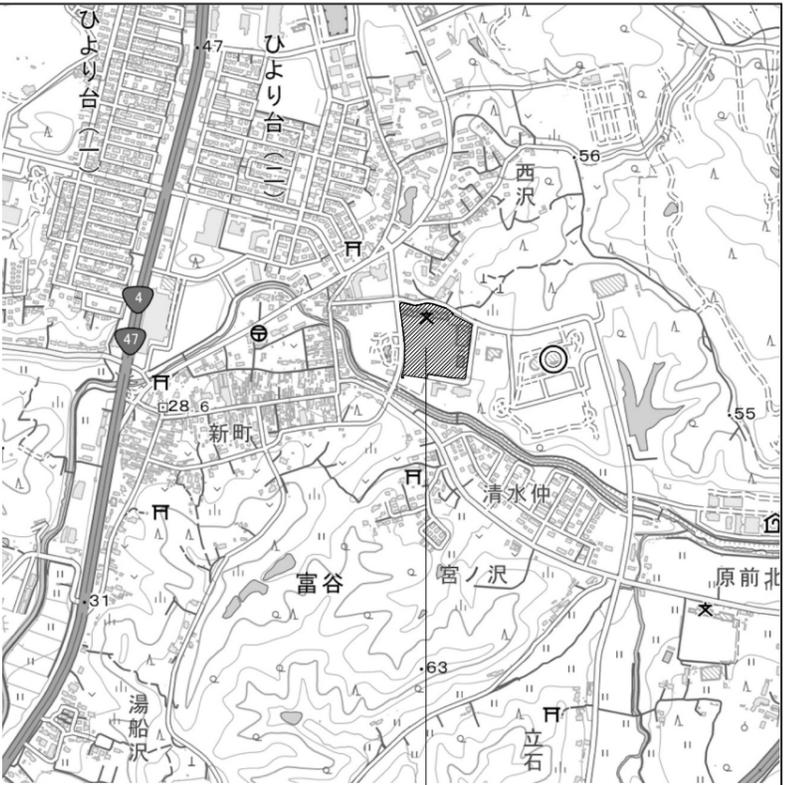
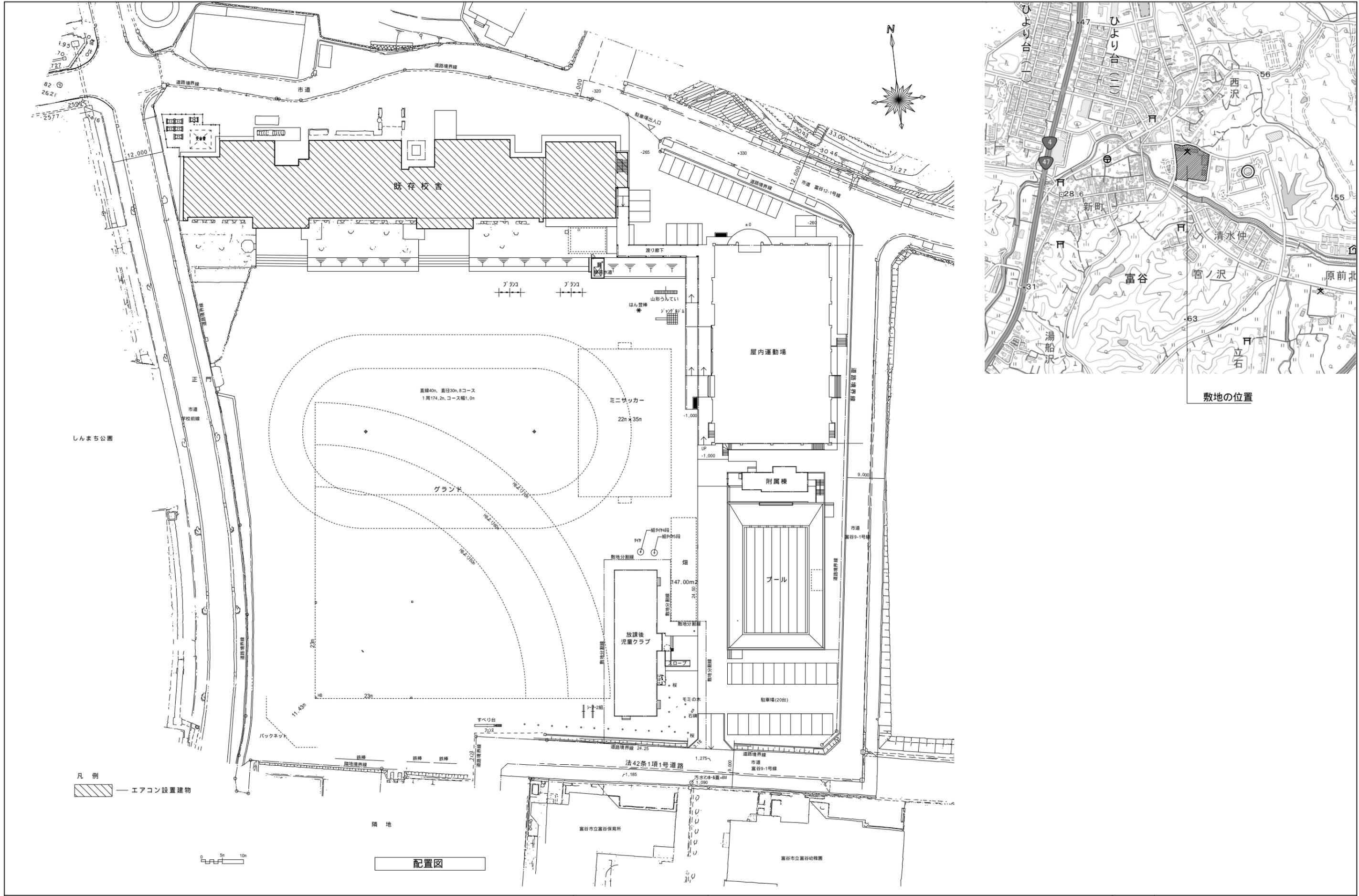
() 内は芯径を示す。



門柱・庫枠位置関係図



- 設計条件
設計荷重... 昭和57年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力に依る。
基礎条件... 長期許容地耐力 98 kN/m² (10 t/m²)
- 備考
1. 外装について
・門柱、枠体... 亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上高耐候性樹脂粉末塗装
・ジョイント... 亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上高耐候性樹脂粉末塗装
・ワイヤメッシュ... 亜鉛・アルミ合金めっきの上高耐候性樹脂粉末塗装
・バンド... 亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上防錆着色処理
・U型金具... 亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上防錆着色処理
・ボルト、ナット... 溶融亜鉛めっきの上防錆着色処理
・戸当り付両面回転錠... 溶融亜鉛めっきのみ
2. 本図門扉は片側180°開きとする。

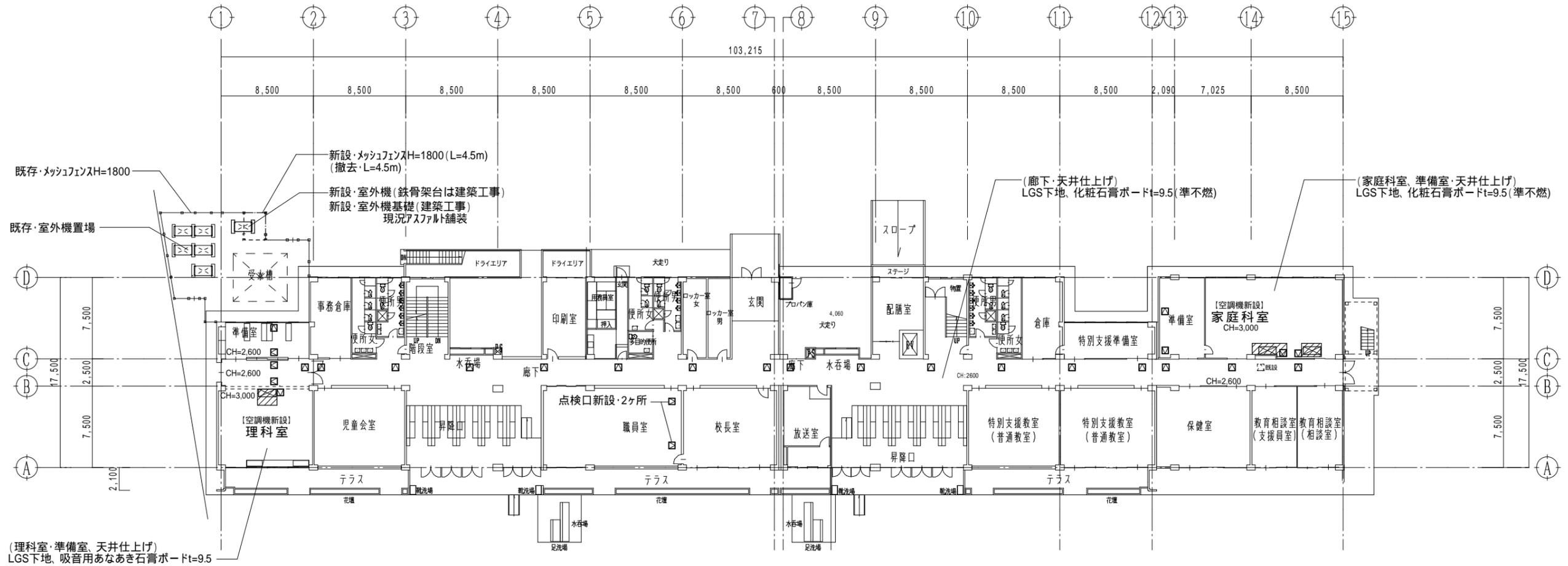


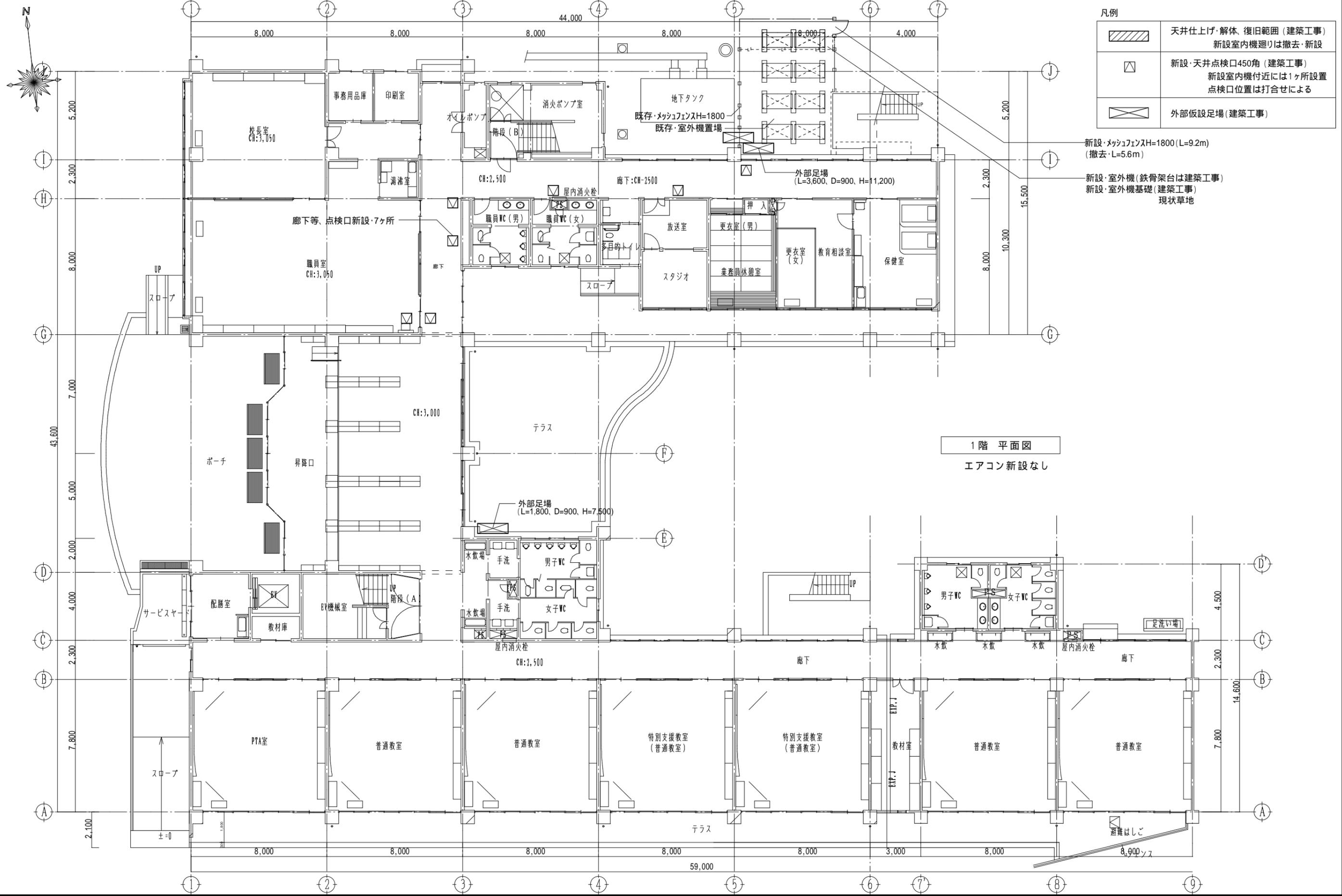
敷地の位置



凡例

	天井仕上げ・解体、復旧範囲 (建築工事) 新設室内機廻りは撤去・新設
	新設・天井点検口450角 (建築工事) 新設室内機付近には1ヶ所設置 点検口位置は打合せによる
	外部仮設足場 (建築工事)



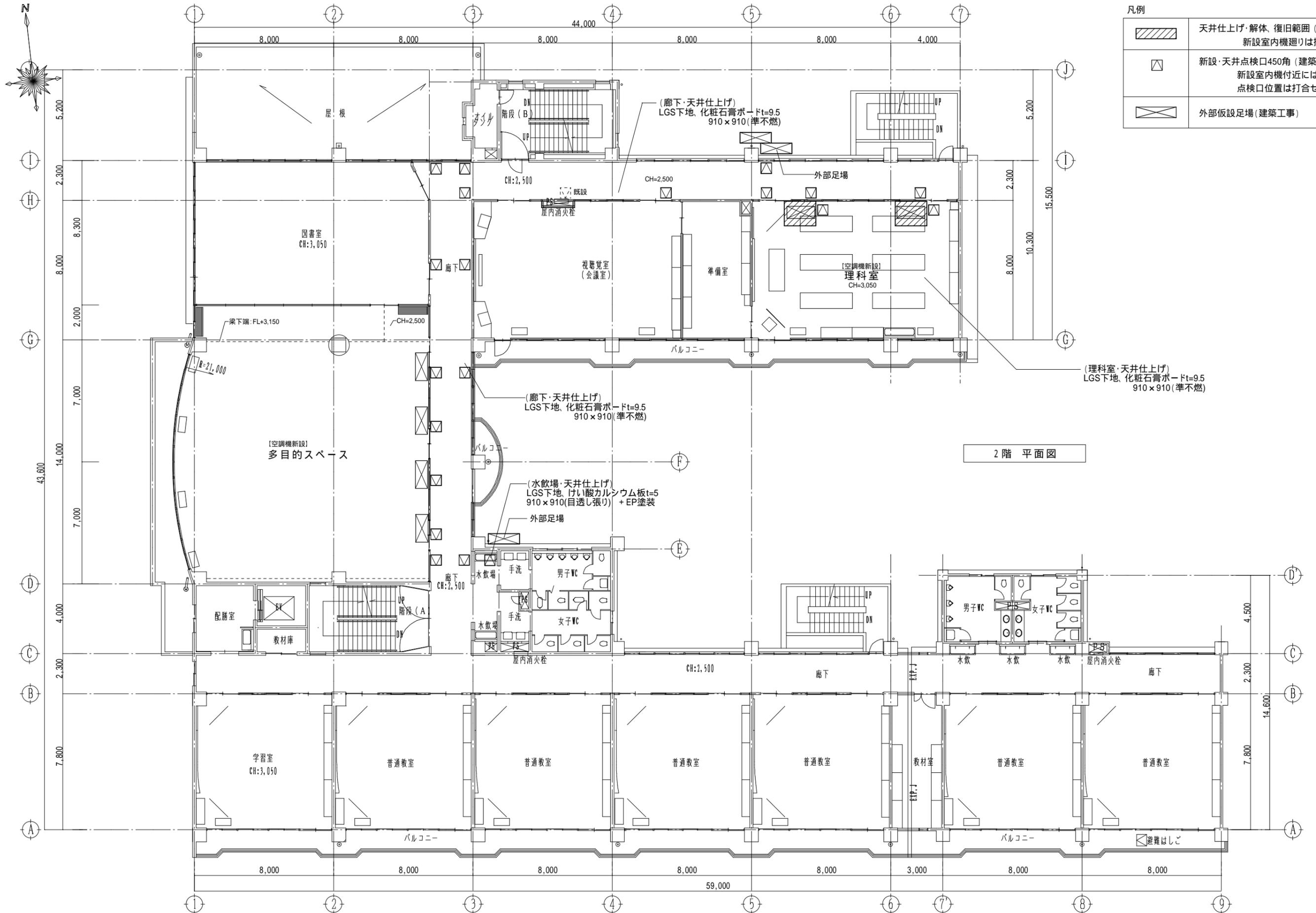


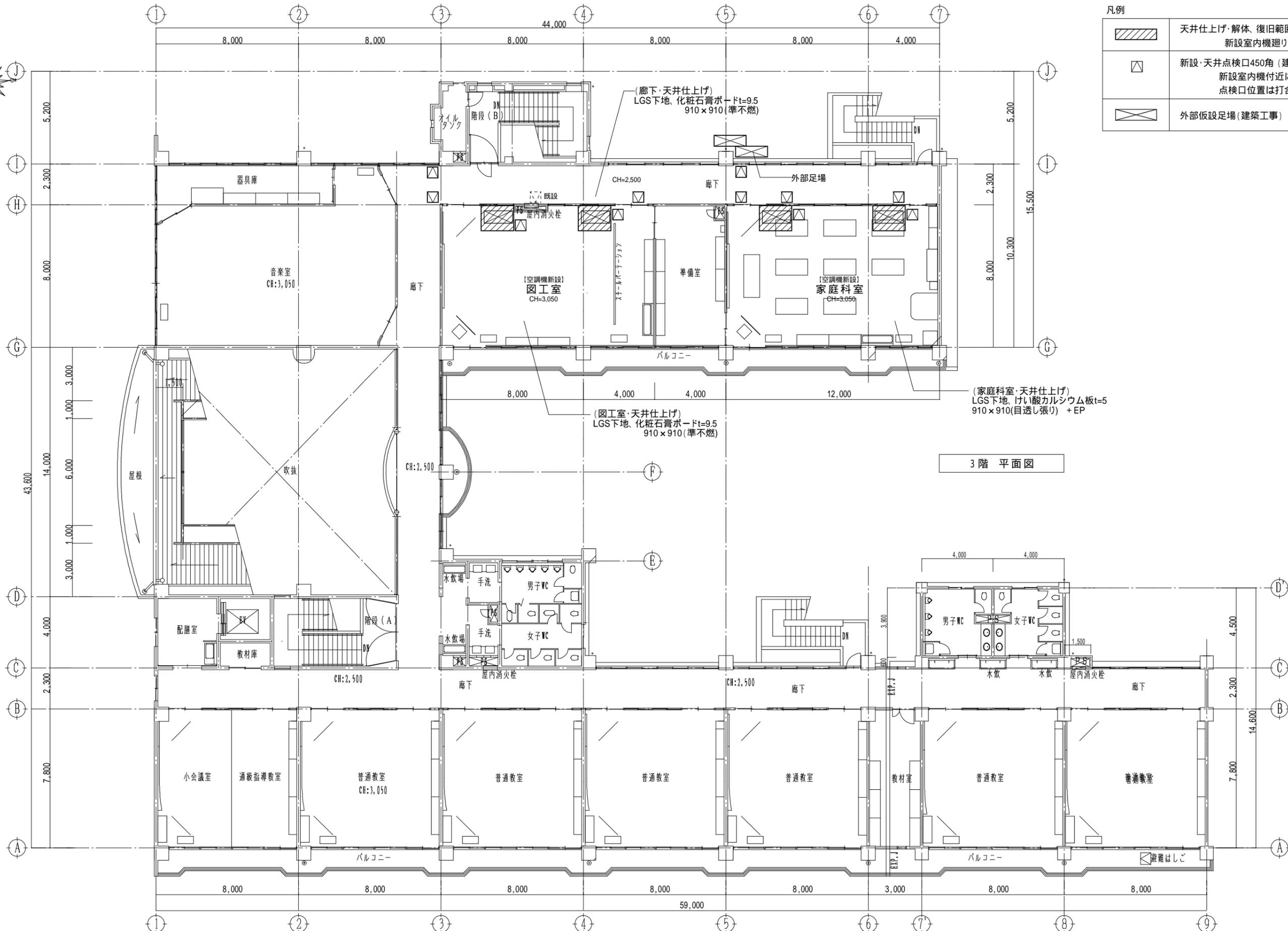
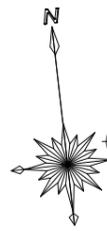
凡例	
	天井仕上げ・解体、復旧範囲 (建築工事) 新設室内機廻りは撤去・新設
	新設・天井点検口450角 (建築工事) 新設室内機付近には1ヶ所設置 点検口位置は打合せによる
	外部仮設足場 (建築工事)

新設・メッシュフェンスH=1800 (L=9.2m)
(撤去・L=5.6m)

新設・室外機 (鉄骨架台は建築工事)
新設・室外機基礎 (建築工事)
現状草地

1階 平面図
エアコン新設なし





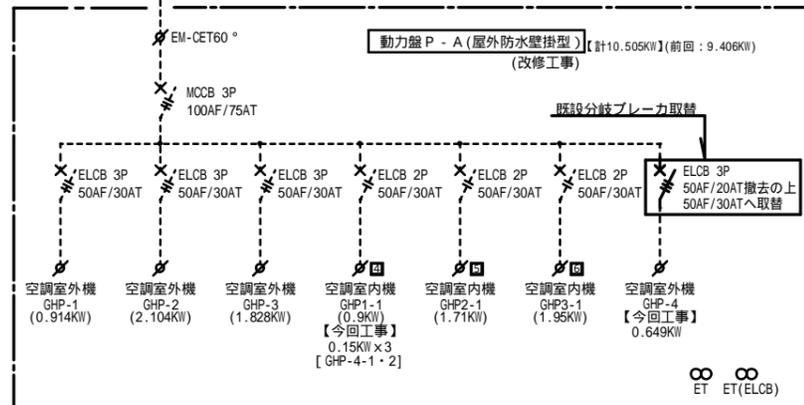
凡例	
	天井仕上げ・解体、復旧範囲 (建築工事) 新設室内機廻りは撤去・新設
	新設・天井点検口450角 (建築工事) 新設室内機付近には1ヶ所設置 点検口位置は打合せによる
	外部仮設足場 (建築工事)

3階 平面図

【キュービクル概要】

・TR: 3 200V 50KVA 【既設】

P-A: MCCB3P100/75AT(埋込型・プレート枠付)撤去の上
MCCB3P100/1100AT(埋込型・プレート枠付)へ取替



【凡例】

記号	名称	摘要
☑	動力盤 (既設盤改修)	動力盤結線図参照 [P - A]
☒	空調機 (機械設備工事)	仕様図示
☐ PB	プルボックス (新設)	PB1 = SS200 x 200 x 150
☐	既設: 照明器具(直付)	天井材取外再取付に伴い、器具取外し再取付 又、移設
☐	既設: 差動式感知器	天井材取外再取付に伴い、器具取外し再取付 又、移設
☐ PB	既設: プルボックス	
—	既設: 配線配管	

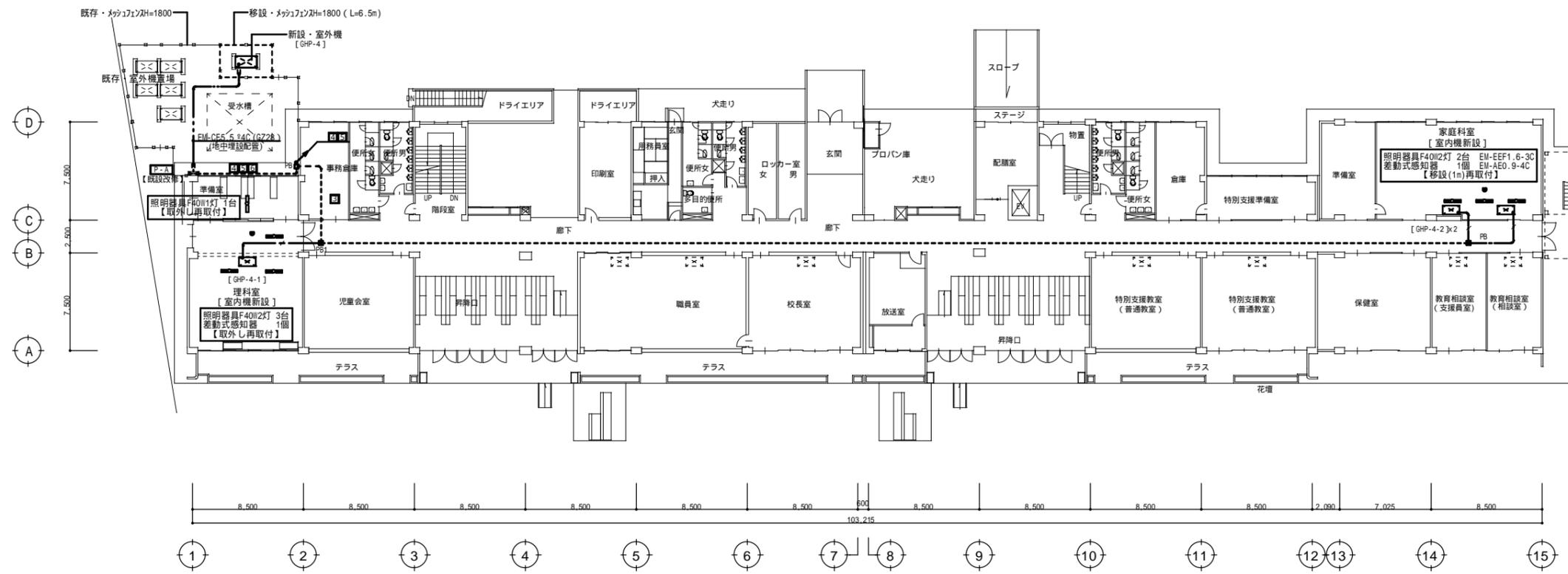
天井仕上げ・解体、天井点検口、区画貫通処理等は建築工事とする

【空調機仕様: GHPマルチ型】

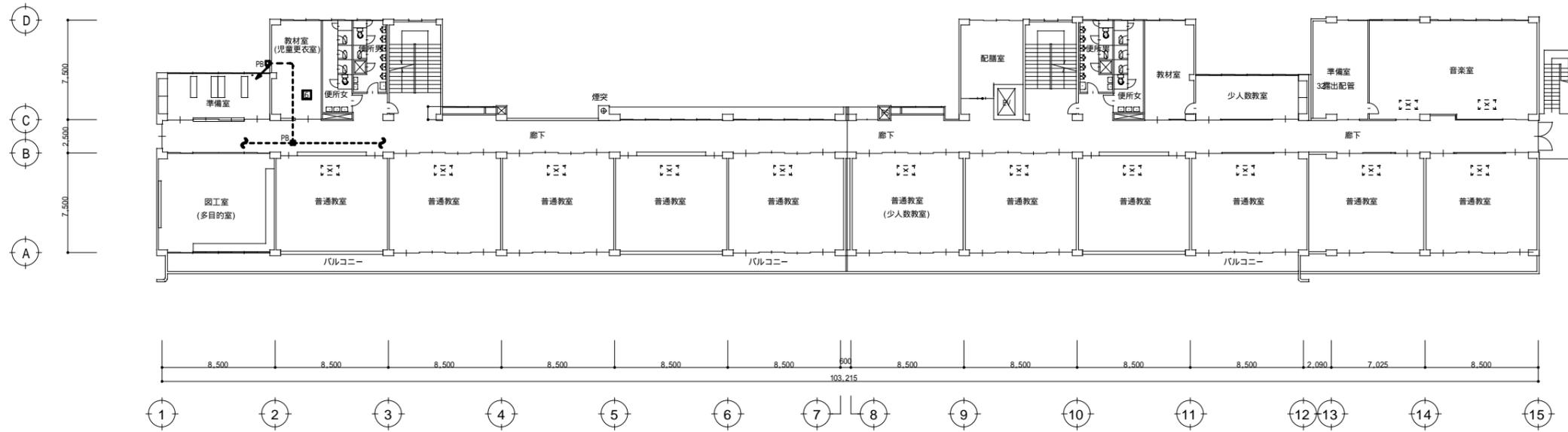
記号	機種	電圧・容量	台数	設置場所
[GHP-4]	屋外機	3 200V 0.649KW	1	外部
[GHP-4-1]	屋内機	1 200V 0.15KW	1	理科室
[GHP-4-2]	屋内機	1 200V 0.15KW	2	家庭科室

【配線凡例】

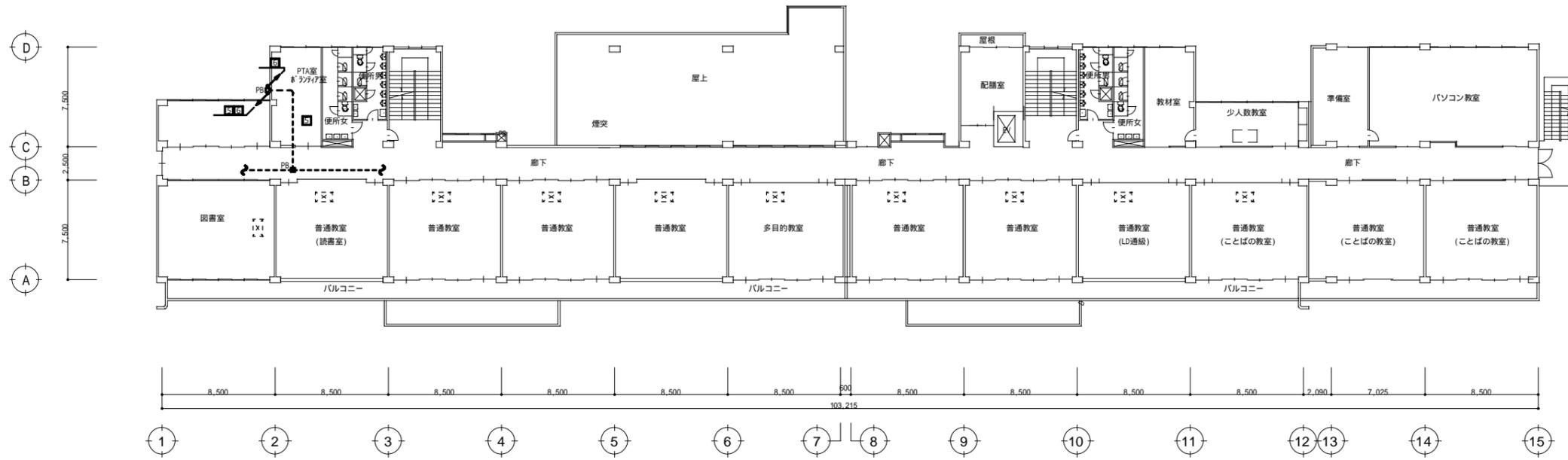
- EM-EEF2.0-3C 立上り立下りはメタルモールMM1-Aで保護
- EM-CE5.5-4C(GZ28) 立上り立下りは露出配管とする
- 天井内コロガシ配線
- 露出配線配管
- 地中埋設配管
- 天井内配線の敷設に伴う天井材・区画貫通は建築工事とする
- (GZ): 厚鋼電線管(溶融亜鉛メッキ)製とする
- 屋外機等の接続箇所は二種金属製とう管(ビニル被覆)のこと



1階 平面図



2階 平面図
新設エアコンなし



2階 平面図
新設エアコンなし

電気設備改修工事特記仕様書【令和6年4月版】
1. 工事概要
1.1 工事名称 令和6年度 富谷小学校・日吉台小学校特別教室空調設備設置工事【日吉台小学校】
1.2 工事場所 富谷市日吉台一丁目13-1
1.3 建物概要
2. 工事項目(○印のついたものを適用する。)
2.1 空調機室内外種へ配線配管工事を行う
2.2 移設・取外し再取付工事
3. 特記仕様書
(1) 特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官庁官庁管理官庁部監修の「公共建築工事標準仕様書(電気設備工編、令和4年版)」、公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工編、令和4年版)、国土交通省大臣官庁官庁管理官庁部監修・環境調整部の「公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工編、令和4年版)」による。
(2) 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事特記仕様書に適用する。なお、機械設備工事の特記仕様書は()印、建築工事の特記仕様書は()印による。

23. 他工事との工事区分
24. 保温、結露防止
25. 電線類
26. 合成樹脂製可とう管
27. 二種金属製可とう管
28. 電線本数、管径など
29. インサート
30. 呼び線
31. フラッシュプレート
32. フロアプレート・ベース
33. ハンドホール蓋
34. 支持金物、固定金物
35. あと施工アンカー
36. 接地種の種別・表示等
接地種は図面に特記なき場合は、下表による。なお、E.Bの長さは1,500mmとする。ただし、D=10は1,000mm、W=30は1,200mmとする。
表1 接地種の種別・表示等
表2 接地種の規格・数量

1. 工事範囲
2. 受電部
3. 避雷導線
4. 接地種
5. 測定用補助接地
6. 電気方式
7. 引込ケーブル
8. 配電盤
9. 主遮断装置
10. 高圧機器類
11. 変圧器
12. 高圧用コンデンサ
13. リアクトル
14. 測定用補助接地
15. 非常用照明器具電源
16. 交流無停電電源装置
17. 工事範囲
18. 形式
19. 発電機
20. 原動機
21. 燃料
22. 太陽光発電装置
23. 系統連系
24. 電気交換機
25. 電話機への配線
26. ローテーションアクトレイト(電甲形)
27. 保安用接地

1. 工事範囲
2. 監視対象設備
3. 表示操作盤
4. 監視制御装置
5. 布設方法
6. 上柱機器
7. 高圧ケーブルの端末処理
8. 下対策
9. 予備配管
10. 工事範囲
11. 用途
12. 施工方法
13. 特記仕様
14. 特記事項
表2 機器取付高さ
表3 機器取付高さ
表4 完成書類

5. 指定部分
6. 完成工期
7. 特記仕様書
8. 特記事項
9. 適用基準等
10. 機材等
11. 機材の品質・性能証明
12. 保険
13. 雇用
14. 施工計画書・施工図等
15. 手続き
16. 施工条件
17. 工事の一時中止
18. 工事実施情報の登録(CORINS)
19. 事故報告
20. 電気保安技術者
21. 工事用電力、水、油
22. 工事用仮設物
23. 監督職員事務所
24. 足場、さん橋欄
25. 工事表示板
26. 工事用通路
27. 発生材の処理等
28. 残土処理
29. 附属施工
30. 風圧加重

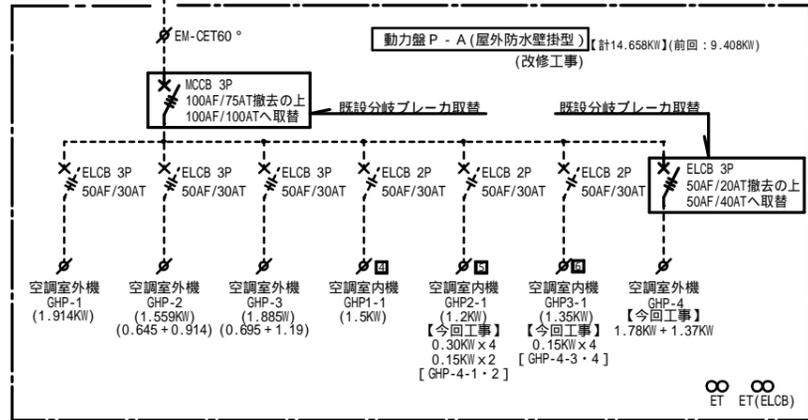
37. 総合調整
38. 塗装工事
39. 山崩れ
40. 舗装工事
41. はつり
42. 再使用機器
43. 撤去後の補修等
44. アスベスト
45. 有害物質の取り扱い
46. 工事範囲
47. 電気方式
48. 施工方法
49. 照明器具
50. 防炎用照明器具
51. 照度測定
52. ハイテンションアクトレイト
53. 予備配管
54. 工事範囲
55. 電気方式
56. 施工方法
57. 警報類
58. 機器への接続
59. 電動機等の接地
60. 連絡用コンデンサ
61. 電気自動車用充電装置

28. 電気交換機
29. 発電機
30. 原動機
31. 燃料
32. 太陽光発電装置
33. 系統連系
34. 電気交換機
35. 電話機への配線
36. ローテーションアクトレイト(電甲形)
37. 保安用接地
38. 工事範囲
39. 形式
40. 発電機
41. 原動機
42. 燃料
43. 太陽光発電装置
44. 系統連系
45. 電気交換機
46. 電話機への配線
47. ローテーションアクトレイト(電甲形)
48. 保安用接地
49. 工事範囲
50. 形式
51. 発電機
52. 原動機
53. 燃料
54. 太陽光発電装置
55. 系統連系
56. 電気交換機
57. 電話機への配線
58. ローテーションアクトレイト(電甲形)
59. 保安用接地
60. 工事範囲
61. 形式
62. 発電機
63. 原動機
64. 燃料
65. 太陽光発電装置
66. 系統連系
67. 電気交換機
68. 電話機への配線
69. ローテーションアクトレイト(電甲形)
70. 保安用接地

表2 機器取付高さ
表3 機器取付高さ
表4 完成書類
表5 完成書類
表6 完成書類
表7 完成書類
表8 完成書類
表9 完成書類
表10 完成書類
表11 完成書類
表12 完成書類
表13 完成書類
表14 完成書類
表15 完成書類
表16 完成書類
表17 完成書類
表18 完成書類
表19 完成書類
表20 完成書類
表21 完成書類
表22 完成書類
表23 完成書類
表24 完成書類
表25 完成書類
表26 完成書類
表27 完成書類
表28 完成書類
表29 完成書類
表30 完成書類
表31 完成書類
表32 完成書類
表33 完成書類
表34 完成書類
表35 完成書類
表36 完成書類
表37 完成書類
表38 完成書類
表39 完成書類
表40 完成書類
表41 完成書類
表42 完成書類
表43 完成書類
表44 完成書類
表45 完成書類
表46 完成書類
表47 完成書類
表48 完成書類
表49 完成書類
表50 完成書類
表51 完成書類
表52 完成書類
表53 完成書類
表54 完成書類
表55 完成書類
表56 完成書類
表57 完成書類
表58 完成書類
表59 完成書類
表60 完成書類
表61 完成書類
表62 完成書類
表63 完成書類
表64 完成書類
表65 完成書類
表66 完成書類
表67 完成書類
表68 完成書類
表69 完成書類
表70 完成書類
表71 完成書類
表72 完成書類
表73 完成書類
表74 完成書類
表75 完成書類
表76 完成書類
表77 完成書類
表78 完成書類
表79 完成書類
表80 完成書類
表81 完成書類
表82 完成書類
表83 完成書類
表84 完成書類
表85 完成書類
表86 完成書類
表87 完成書類
表88 完成書類
表89 完成書類
表90 完成書類
表91 完成書類
表92 完成書類
表93 完成書類
表94 完成書類
表95 完成書類
表96 完成書類
表97 完成書類
表98 完成書類
表99 完成書類
表100 完成書類

【キュービクル概要】
 ・TR: 3 200V 50kVA (2019年製造) 【既設】

P-A: MCCB3P100/75AT(埋込型)撤去の上
 MCCB3P125/125AT(埋込型)へ取替



【空調機仕様: GHPマルチ型】

記号	機種	電圧・容量	台数	設置場所
[GHP-4]	屋外機	3 200V 1.78kW 1.37kW	1	外部
[GHP-4-1]	屋内機	1 200V 0.3kW	4	多目的ホール
[GHP-4-2]	屋内機	1 200V 0.15kW	2	理科室
[GHP-4-3]	屋内機	1 200V 0.15kW	2	図工室
[GHP-4-4]	屋内機	1 200V 0.15kW	2	家庭科室

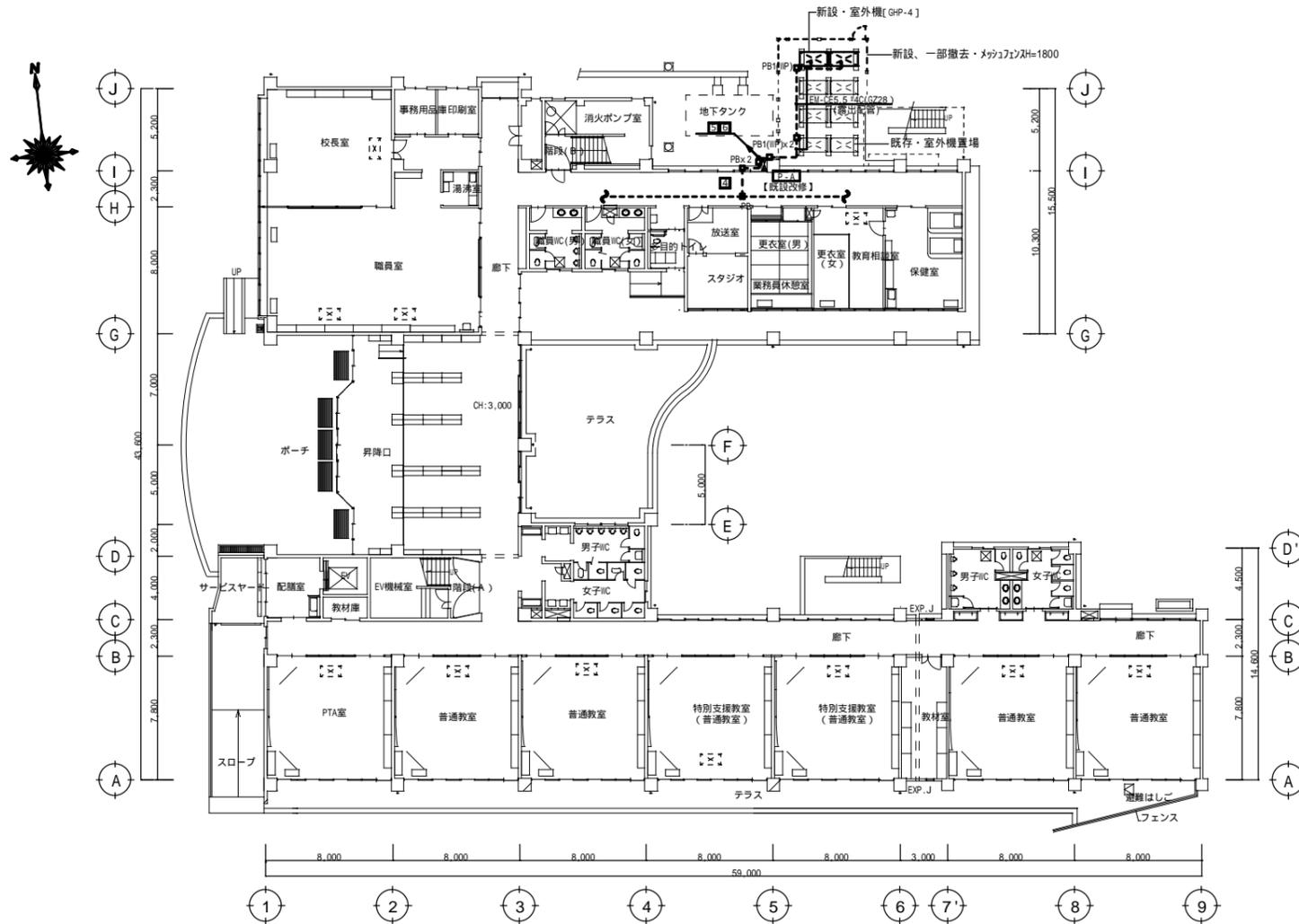
【配線凡例】

- EM-EF1.6-3C 立上り立下りはメタルモールMM1-Aで保護
- EM-CE5.5[°]4C(GZ28) 立上り立下りは露出配管とする
- 天井内コロガシ配線
- 露出配線配管
- 地中埋設配管
- 天井内配線の敷設に伴う天井材・区画貫通は建築工事とする
- (GZ): 厚銅電線管(溶融亜鉛メッキ)製とする
- 屋外機等の接続箇所は二種金属製可とう管(ビニル被覆製)のこと

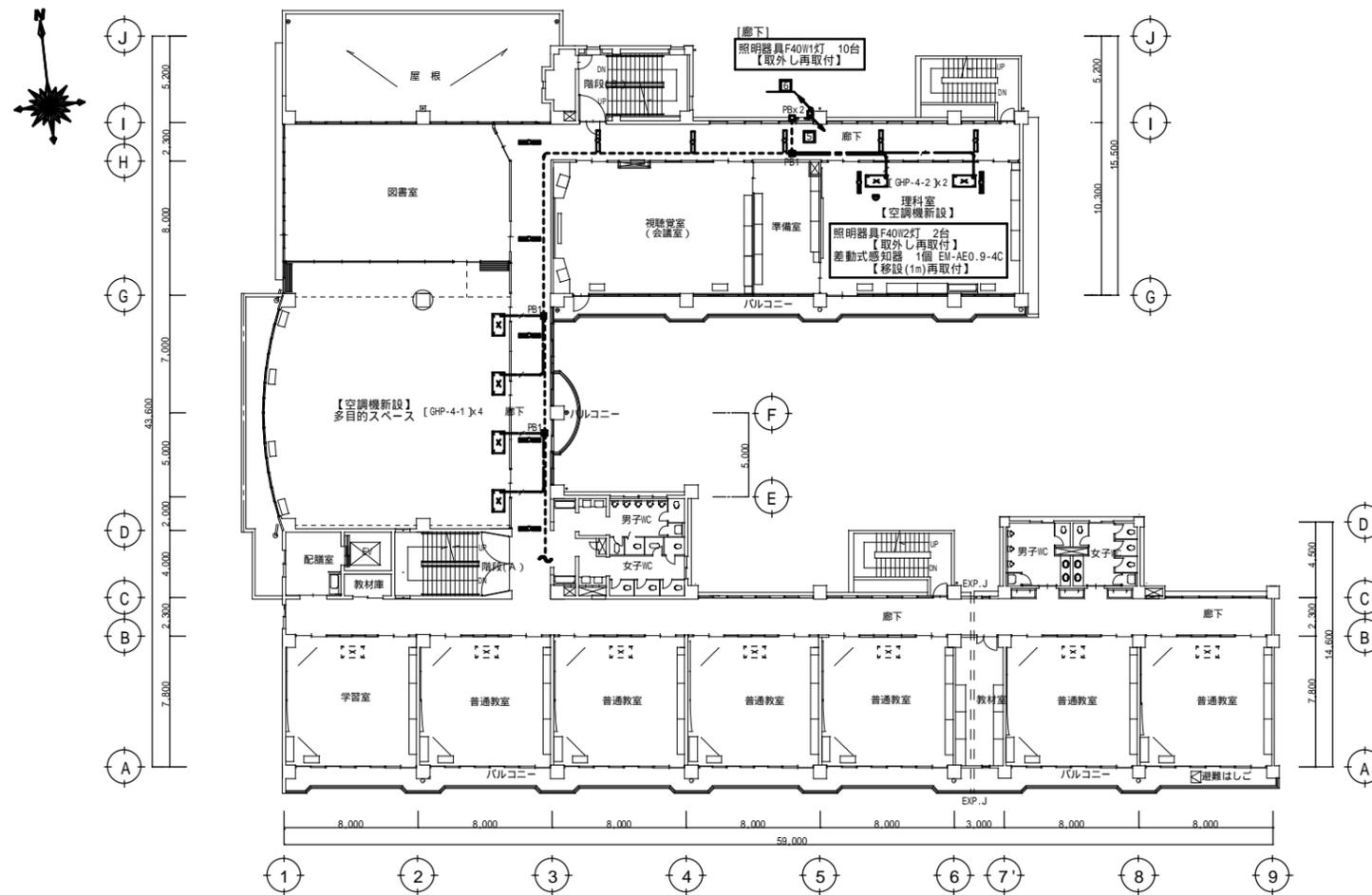
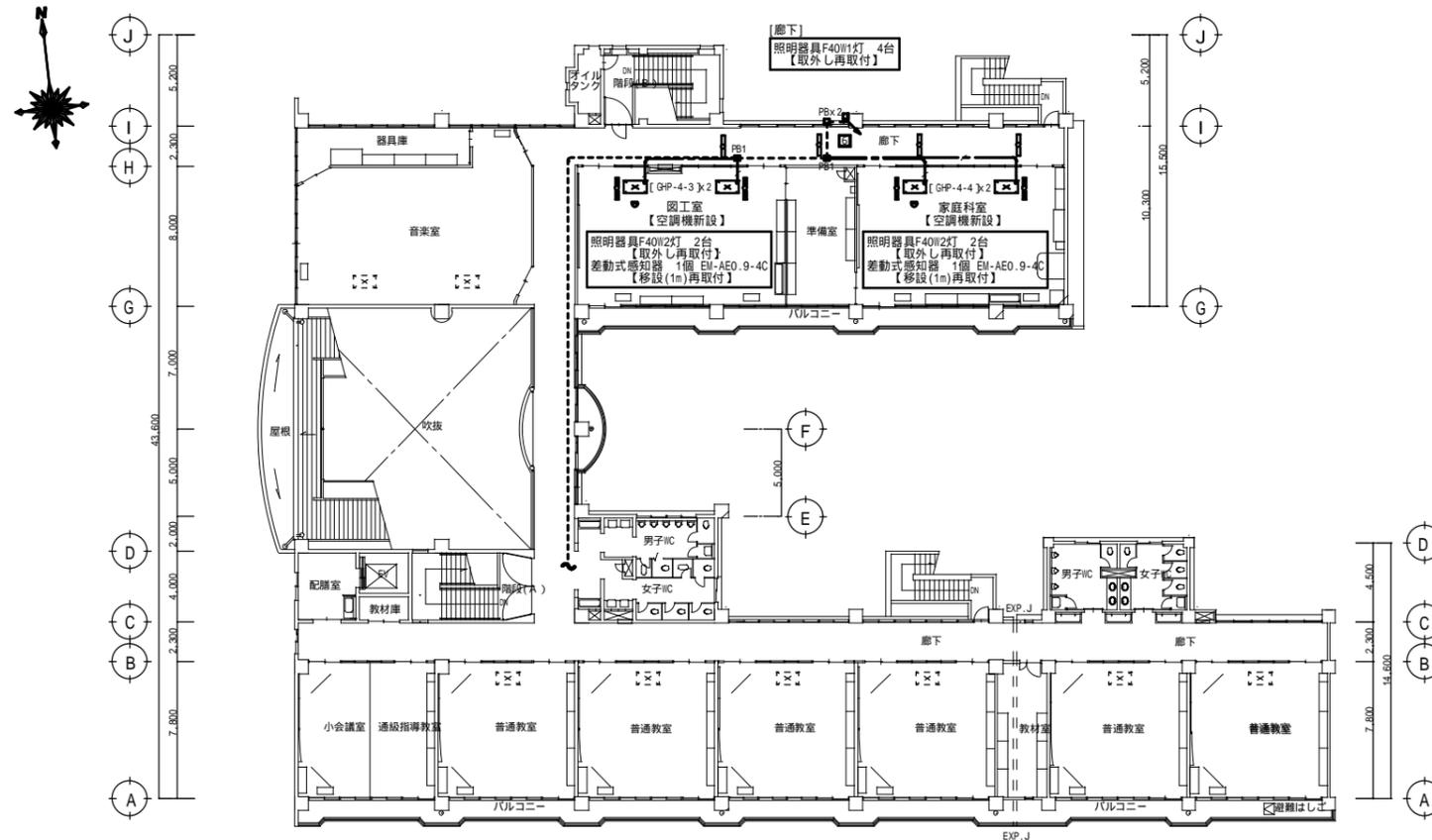
【凡例】

記号	名称	摘要
EM	動力盤 (既設盤改修)	動力盤結線図参照 [P - A]
EM	空調機 (機械設備工事)	仕様図示
PB	プルボックス (新設)	PB1 = SS200 x 200 x 150
PB(IP)	防水型プルボックス (新設)	SS200 x 200 x 150・SUS製
EM	既設: 照明器具 (直付)	天井材取外再取付に伴い、器具取外し再取付 又、移設
EM	既設: 差動式感知器	天井材取外再取付に伴い、器具取外し再取付 又、移設
PB	既設: プルボックス	
---	既設: 配線配管	

天井仕上げ・解体、天井点検口、区画貫通処理等は建築工事とする



1階 平面図
 エアコン新設なし

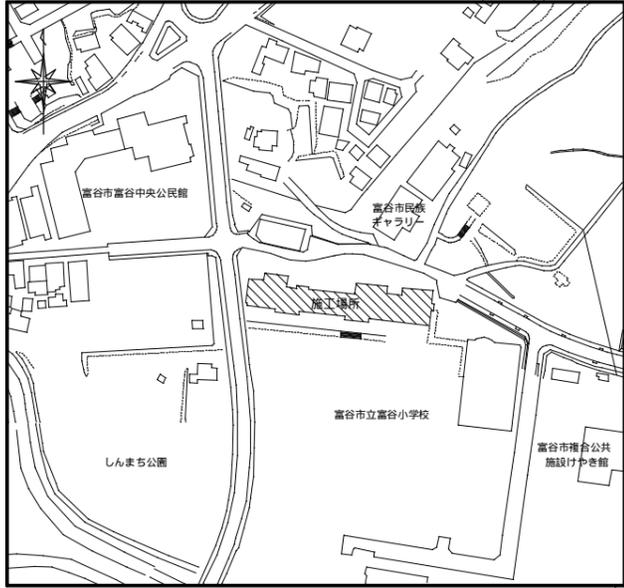
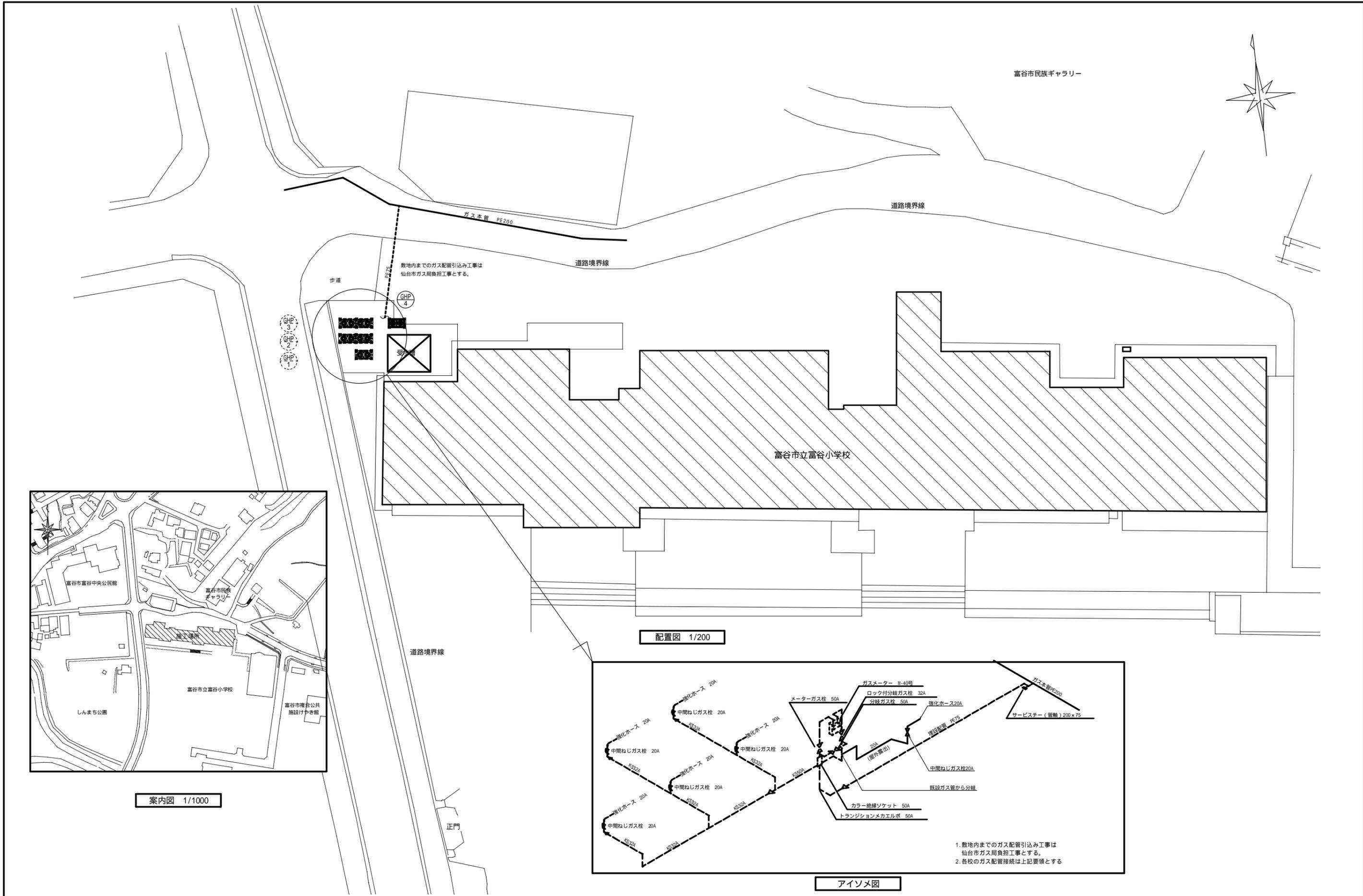


空調機器表

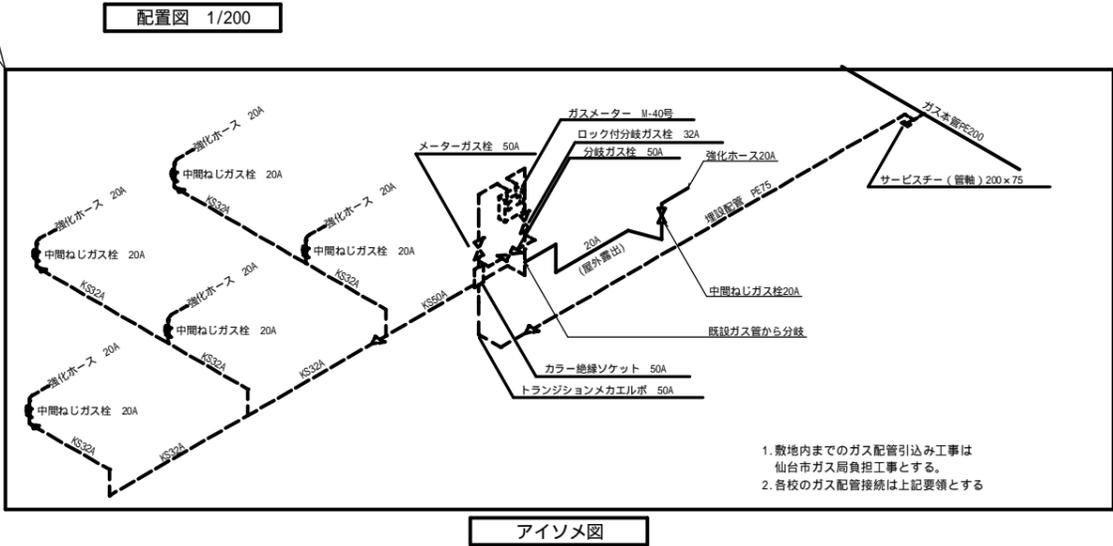
階	記号	設置場所 (系統)	室外ユニット								室内ユニット						セット数	備考
			熱源形式	冷房能力 kW	暖房能力 kW	燃料消費量(都市ガス13A) (S)/(W) kW	送風機 kW	消費電力 (S)/(W) kW	電源 V	数量	室内ユニット形式	ドレンアップキッド 要 x 不要	冷房能力 kW	暖房能力 kW	送風機 kW	電源 V		
1	GHP-4	1F地上(1F系)	GHPマルチ、標準形	45.0	50.0	37.6/34.8	0.20	0.649/0.47	3/200	1							1	
	GHP-4-1	理科室								天井吊形	○	14.0	16.0	0.15	1/200	1		
	GHP-4-2	家庭科室								天井吊形	○	11.2	12.5	0.15	1/200	2		

- 空調機選定オプション等
- 空調機の選定条件は、JIS条件とする
 - 屋外ユニット：
 - 冷暖房切替え、冷媒ガスはR410Aとする
 - 防振は防振架台とする。
 - コンクリート基礎：建築工事
 - 鋼製平架台：建築工事
 - 室内ユニット：
 - 吊り具は防振吊り具式
 - リモコンスイッチはワイヤードとする。
 - リモコンスイッチは事務室-1にて集中管理とする。
また、各室には手元リモコンスイッチを設置する。
 - 屋内外ユニット間の引き配線、集中管理用制御線及びスイッチ線は本工事とする。
 - 電力値及び消費電力は参考とする。

階	記号	設置場所 (系統)	室外ユニット								室内ユニット						セット数	備考
			熱源形式	冷房能力 kW	暖房能力 kW	燃料消費量(LPG) (S)/(W) kW	送風機 kW	消費電力 (S)/(W) kW	電源 V	数量	室内ユニット形式	ドレンアップキッド 要 x 不要	冷房能力 kW	暖房能力 kW	送風機 kW	電源 V		
1	GHP-1	1F地上(1F系)	GHPマルチ、標準形	52.0	46.0	49.6/46.0	0.310+0.431	0.914/.628	3/200	1							1	アイシン精機機 AXGP560F2Z
	GHP-1-1	職員室								天井吊形	x	7.4	6.1	0.15	1/200	2	AXHP90MA	
	GHP-1-2	校長室								"	x	6.7	9.3	0.15	"	1	AXHP90MA	
	GHP-1-3	普通教室 (特別支援教室) x2								"	x	6.8	10.7	0.15	"	2	AXHP112MA	
	GHP-1-4a	普通教室 (特別支援教室)								"	x	4.7	6.0	0.061	"	1	AXHP56MA	
	GHP-1-4b	普通教室 (相談室)								"	x	6.0	8.0	0.91	"	1	AXHP71MA	
2	GHP-2	1F地上(2F系)	GHPマルチ、標準形	127.0	90.0	49.3+46.0 /62.3+61.7	0.321+0.431 +0.499+0.572	0.914+1.19 /0.628+0.744	3/200	1							1	アイシン精機機 AXGP560F2Z AXGP710F2Z
	GHP-2-1	図書室								天井吊形	x	12.8	11.4	0.15	1/200	2	AXHP140MA	
	GHP-2-2	普通教室 x9								"	x	9.7	7.4	0.15	"	9	AXHP112MA	
	GHP-2-3	小人数教室								"	x	3.4	3.1	0.06	"	1	AXHP36MA	
3	GHP-3	1F地上(3F系)	GHPマルチ、標準形	167.0	115.0	91.6 x 2 /79.5 x 2	0.607 x 2 +0.633 x 2	0.914 x 2 /1.12 x 2	3/200	1							1	アイシン精機機 AXGP650F2 x 2
	GHP-3-1	普通教室 x10						普通教室 x10		天井吊形	x	9.7	7.4	0.15	1/200	10	AXHP112MA	
	GHP-3-2	普通教室						普通教室(R)		"	x	14.0	12.6	0.15	"	1	AXHP140MA	
	GHP-3-3	音楽室						音楽室		"	x	8.2	9.2	0.15	"	2	AXHP90MA	
1	CRS-1	職員室	集中リモート コントローラー	制御監視項目：一括操作・グループ操作、設定機能：運転ON-OFF・温度 監視機能：運転ON-OFF・設定温度、スケジュール機能：週間スケジュール・休日設定 ADC/M001A1 アイシン精機機										1/100	1			



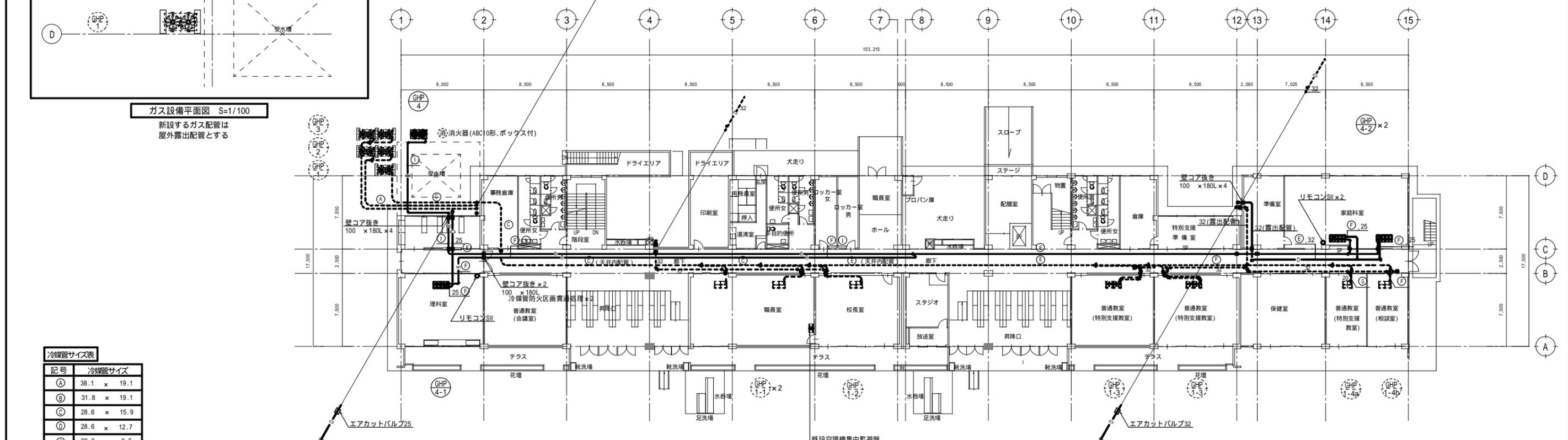
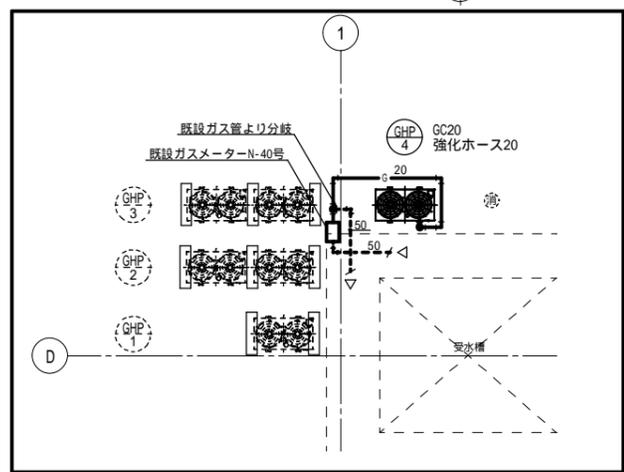
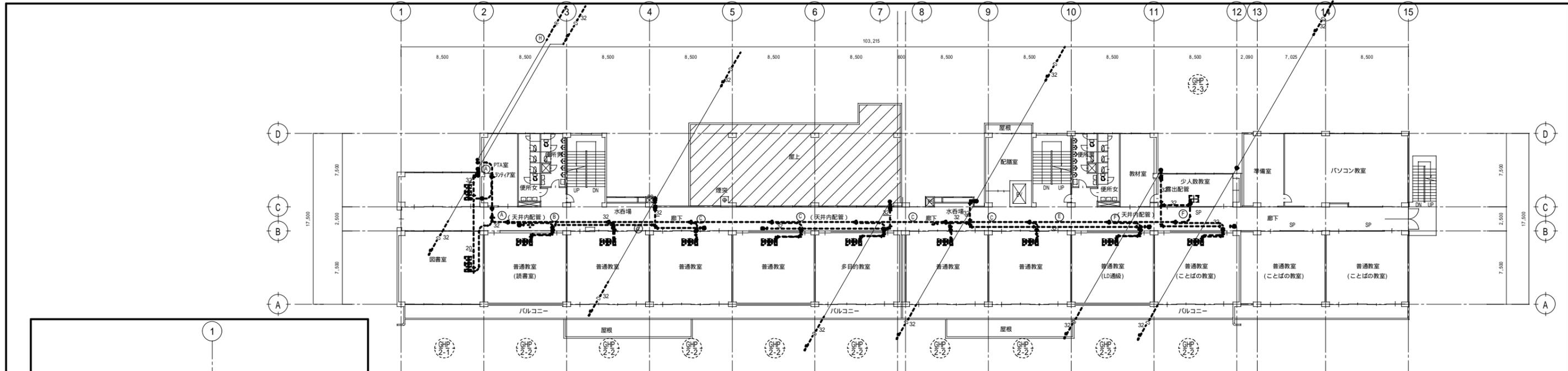
案内図 1/1000



配置図 1/200

アイソメ図

- 敷地内までのガス配管引込み工事は 仙台市ガス局負担工事とする。
- 各校のガス配管接続は上記要領とする

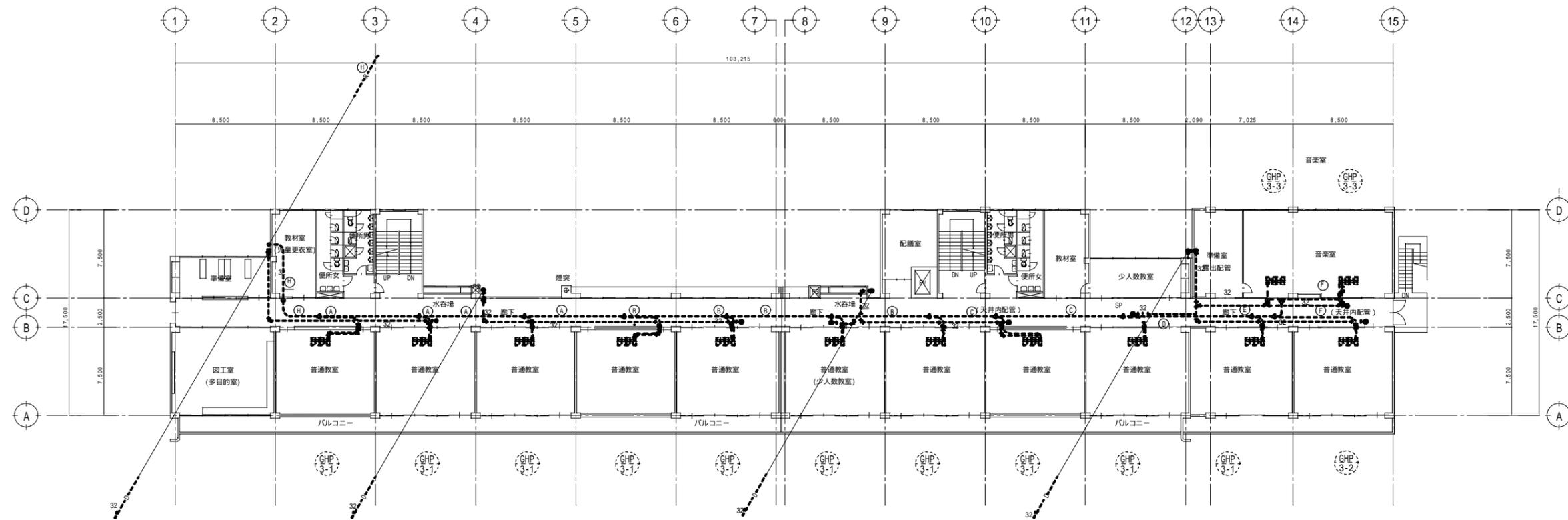


記号	冷媒管サイズ
A	38.1 x 19.1
B	31.8 x 19.1
C	28.6 x 15.9
D	28.6 x 12.7
E	22.2 x 9.5
F	15.9 x 9.5
G	12.7 x 6.4
H	38.1 x 22.2
I	31.8 x 15.9

1階 平面図 S=1/200

2階 平面図 S=1/200

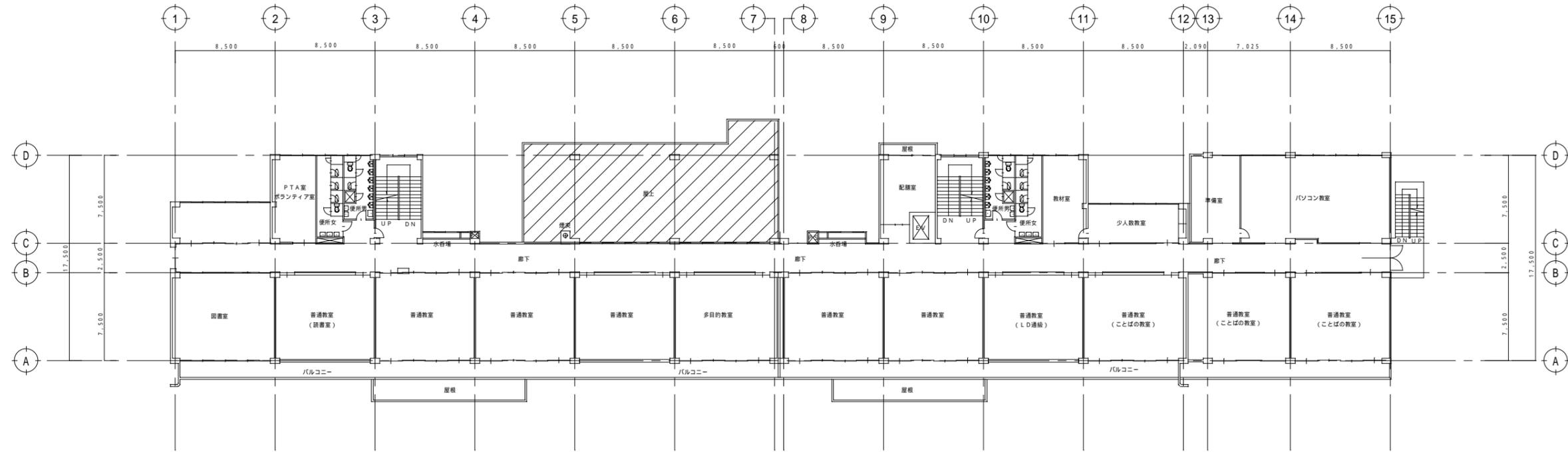
- : 新設機器及び配管を示す
- - -: 既設機器及び配管を示す
- R: 防火区画貫通処理を示す
- 1 室内の冷媒管、ドレン管は特記無き配管は天井内配管とする
- 2 屋内ドレン管は、保温付排水用硬質塩化ビニル管とする
屋外は、保温無とする
- 3 屋内屋外露出冷媒管及び屋内露出ドレン管は樹脂製化粧カバー仕上げとする
- 4 空調室内機のリモコンはFL+1500 - 1600mmにする
- 5 理科室、家庭料室の新設エアコンも既設空調機集中監視盤にて制御する



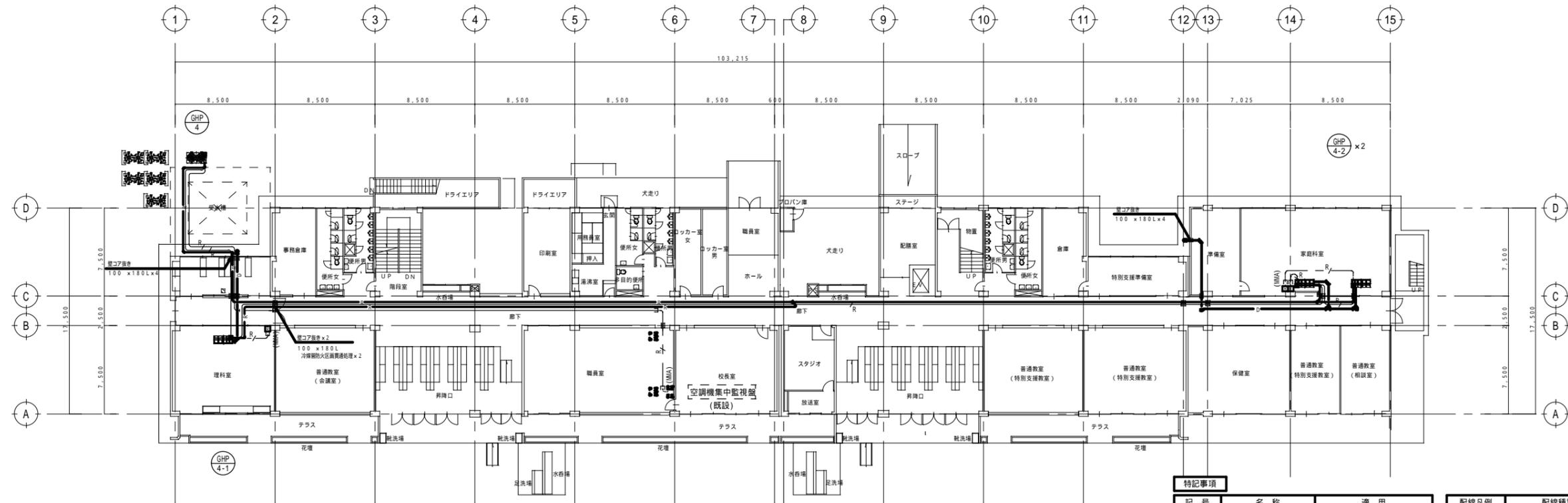
記号	冷媒管サイズ
A	38.1 x 19.1
B	31.8 x 19.1
C	28.6 x 15.9
D	28.6 x 12.7
E	22.2 x 9.5
F	15.9 x 9.5
G	12.7 x 6.4
H	38.1 x 22.2
I	31.8 x 15.9

3階 平面図 S=1/200

- : 新設機器及び配管を示す
- - -: 既設機器及び配管を示す
- : 防火区画貫通処理を示す



2階平面図 S=1/200



1階平面図 S=1/200

記号	名称	適用
⊙	ジョイントボックス	DB 中浅型
⊠	ジョイントボックス	特殊・仕様は別記参照
⊞	防火区画貫通処理	全貫通工法
⊞	躯体貫通シフト	冷媒配管用貫通口と共用
↑	天井点検口	450角 (建設工事)

配線凡例	配線種別	保護管	備考
—●—●—●—	EM-CEES 1.25°-2C	(E25)	-
—●—●—●—	EM-CEES 1.25°-2C	(MM-A)	-
—●—●—●—	EM-CEES 1.25°-2C	-	冷媒管共巻

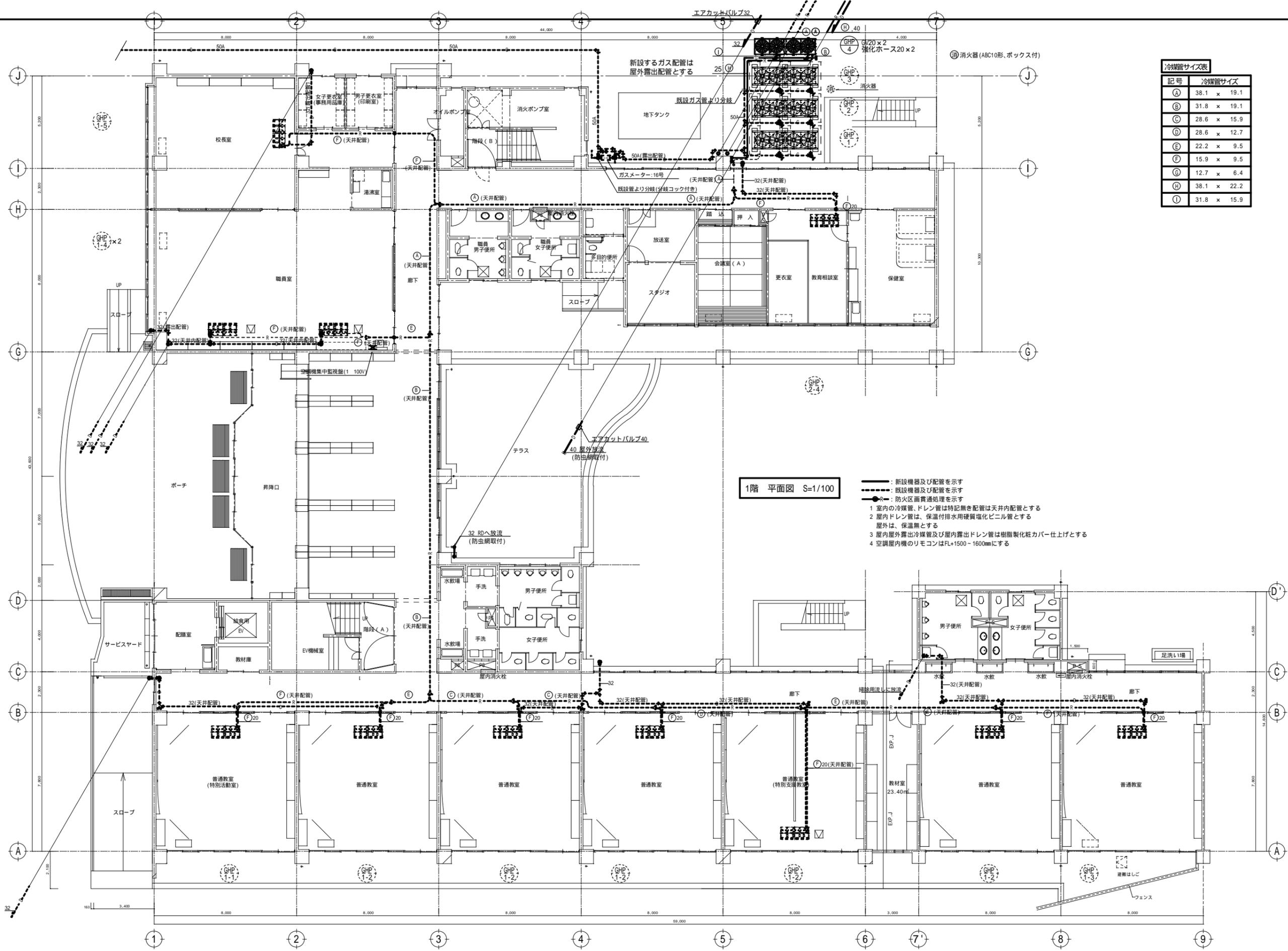
<注記>
 ・室外～室内機間および室内～室内機の制御線配線については、特記なき限り冷媒管共巻配線とする。
 ・屋外開口は冷媒管用貫通口と共用とし、防火区画貫通処理も同様に冷媒管と共用 (国土交通大臣認定工法) で適切に処理するものとする。
 ・壁面貫通立上げ部は、特殊仕様または適合電線管にて保護する。
 ・空調機用操作配線の取付高さはFL+1500を標準とする。
 ・天井点検口は建設工事とし、取付位置は現地確認・協議の上決定とする。

空調機器表

階	記号	設置場所 (系統)	室外ユニット								室内ユニット								セット数	備考
			熱源形式	冷房能力 kW	暖房能力 kW	燃料消費量 (LPG) (S)/(W) kW	送風機 kW	消費電力 (S)/(W) kW	電源 V	数量	室内ユニット形式	ドレンアップキッド 要 × 不要	冷房能力 kW	暖房能力 kW	送風機 kW	電源 V	数量			
1	GHP-4	1F地上 (2~3F系)	GHPマルチ、標準形	71.0 85.0	80.0 95.0	64.1/64.5 80.1/80.2	0.53+0.61 0.67+0.76	1.37/0.701 1.78/1.66	3/200	1							1			
2	GHP-4-1	多目的スペース									天井吊形		14.0	16.0	0.30	1/200	4			
	GHP-4-2	理科室									天井吊形		11.2	12.5	0.15	1/200	2			
3	GHP-4-3	図工室									天井吊形		11.2	12.5	0.15	1/200	2			
	GHP-4-4	家庭科室									天井吊形		11.2	12.5	0.15	1/200	2			

- 空調機選定オプション等
- 空調機の選定条件は、JIS条件とする
 - 屋外ユニット：
 - 冷暖房切替え、冷媒ガスはR410Aとする
 - 防振は防振架台とする。
 - コンクリート基礎：建築工事
 - 銅製平架台：建築工事
 - 室内ユニット：
 - 吊り具は防振吊り具式
 - リモコンスイッチはワイヤードとする。
 - リモコンスイッチは職員室にて集中管理とする。
また、各室には手元リモコンスイッチを設置する。
 - 屋内外ユニット間の配線、集中管理用制御線及びスイッチ線は本工事とする。
 - 電力値及び消費電力は参考とする。

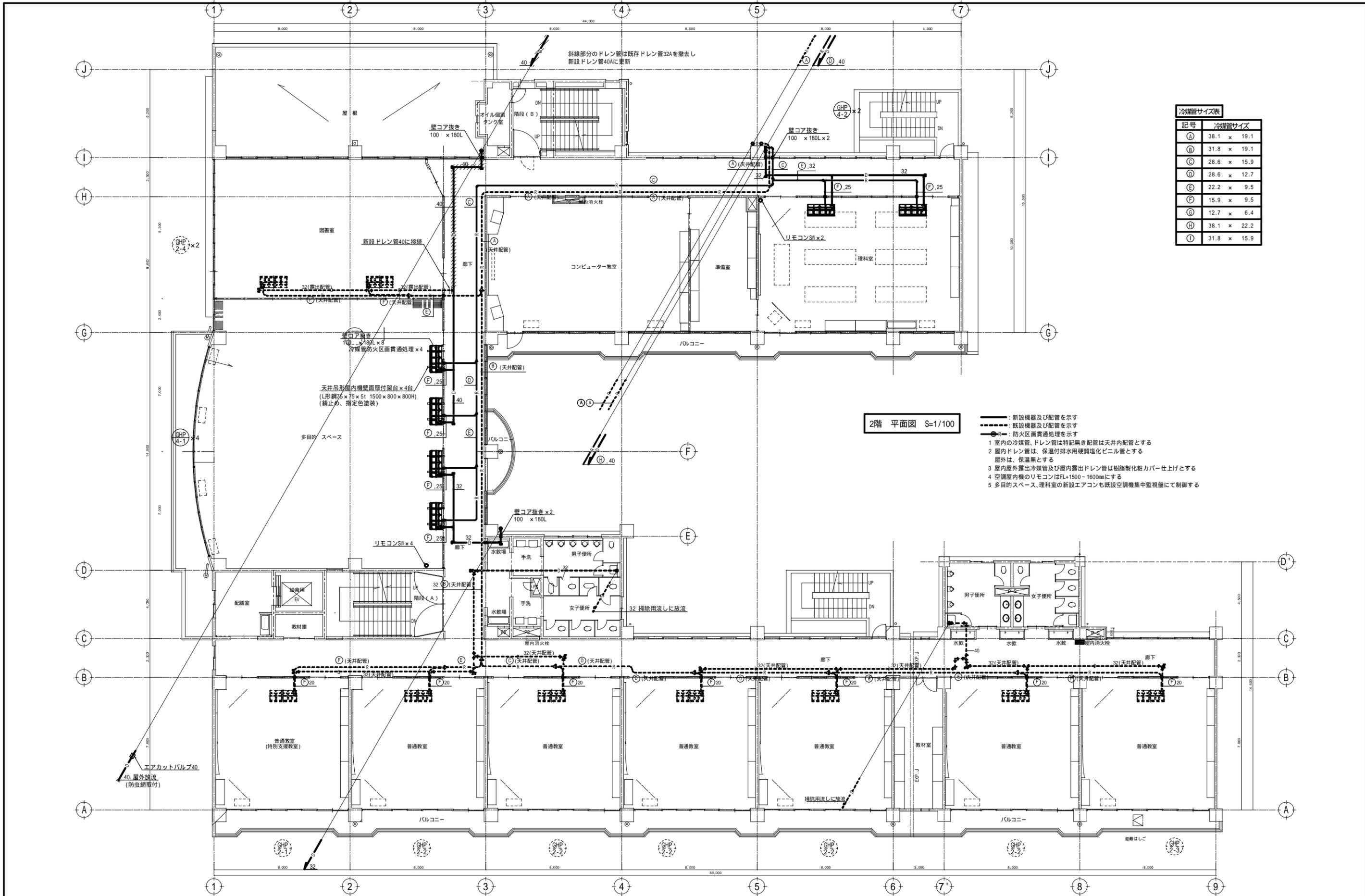
階	記号	設置場所 (系統)	室外ユニット								室内ユニット								セット数	備考
			熱源形式	冷房能力 kW	暖房能力 kW	燃料消費量 (LPG) (S)/(W) kW	送風機 kW	消費電力 (S)/(W) kW	電源 V	数量	室内ユニット形式	ドレンアップキッド 要 × 不要	冷房能力 kW	暖房能力 kW	送風機 kW	電源 V	数量			
1	GHP-1	1F地上 (1F系)	GHPマルチ、標準形	112.0	89.0	49.3×2 /46.0×2	(0.321+0.431) ×2	0.914 /0.628×2	3/200	1							1	アイシン精機機 AII/GP560FZZ×2		
	GHP-1-1	普通教室 (特別活動室)									天井吊形	×	12.0	11.0	0.15	1/200	1	AXHP140MA		
	GHP-1-2	普通教室 ×4									"	×	10.1	8.7	0.15	"	4	AXHP112MA		
	GHP-1-2	普通教室 (特別支援教室)									"		10.1	8.7	0.15	"	1	AXHP112MA		
	GHP-1-3	普通教室									"	×	12.0	10.5	0.15	"	1	AXHP140MA		
	GHP-1-4	職員室 ×2									"		9.2	8.0	0.15	"	2	AXHP112MA		
	GHP-1-5	校長室									"	×	11.0	8.7	0.15	"	1	AXHP112MA		
GHP-1-6	教育相談室									"	×	5.8	4.0	0.06	"	1	AXHP71MA			
2	GHP-2	1F地上 (2F系)	GHPマルチ、標準形	100.0	78.0	37.6×3.3 /34.9+46.0	0.255+0.321 +0.321+0.431	0.645+1.19 /0.505+0.744	3/200	1							1	AII/GP450FZZ AII/GP560FZZ		
	GHP-2-1	普通教室 (特別支援教室)									天井吊形	×	10.2	9.7	0.15	1/200	1	AXHP112MA		
	GHP-2-2	普通教室 ×5									"	×	9.5	11.0	0.15	"	5	AXHP112MA		
	GHP-2-3	普通教室									"	×	10.5	8.8	0.15	"	1	AXHP112MA		
	GHP-2-4	図書室 ×2									"	×	11.7	9.1	0.15	"	2	AXHP140MA		
3	GHP-3	1F地上 (3F系)	GHPマルチ、標準形	124.0	114.0	56.0+62.3 46.0+61.7	0.255+0.321 +0.321+0.431	0.645+1.19 /0.505+0.744	3/200	1							1	AII/GP560FZZ AII/GP110FZZ		
	GHP-3-1	普通教室 (特別支援教室)						教室 (L)			天井吊形	×	16.0	18.0	0.31	1/200	1	AXHP160MA		
	GHP-3-2	普通教室 ×5						教室 ×7			"	×	10.3	10.5	0.15	"	5	AXHP112MA		
	GHP-3-3	普通教室						教室 (R)			"	×	13.8	13.8	0.15	"	1	AXHP140MA		
	GHP-3-4	音楽室 ×2						音楽室			"	×	13.6	10.8	0.15	"	2	AXHP140MA		
1	CRS-1	職員室	集中リモコン コントローラー	制御監視項目：一括操作・グループ操作・設定機能：運転ON・OFF・温度 監視機能：運転ON・OFF・設定温度・スケジュール機能：週間スケジュール・休日設定 ADM601A1 アイシン精機機											1/100	1				



記号	冷媒管サイズ
Ⓐ	38.1 × 19.1
Ⓑ	31.8 × 19.1
Ⓒ	28.6 × 15.9
Ⓓ	28.6 × 12.7
Ⓔ	22.2 × 9.5
Ⓕ	15.9 × 9.5
Ⓖ	12.7 × 6.4
Ⓗ	38.1 × 22.2
Ⓙ	31.8 × 15.9

1階 平面図 S=1/100

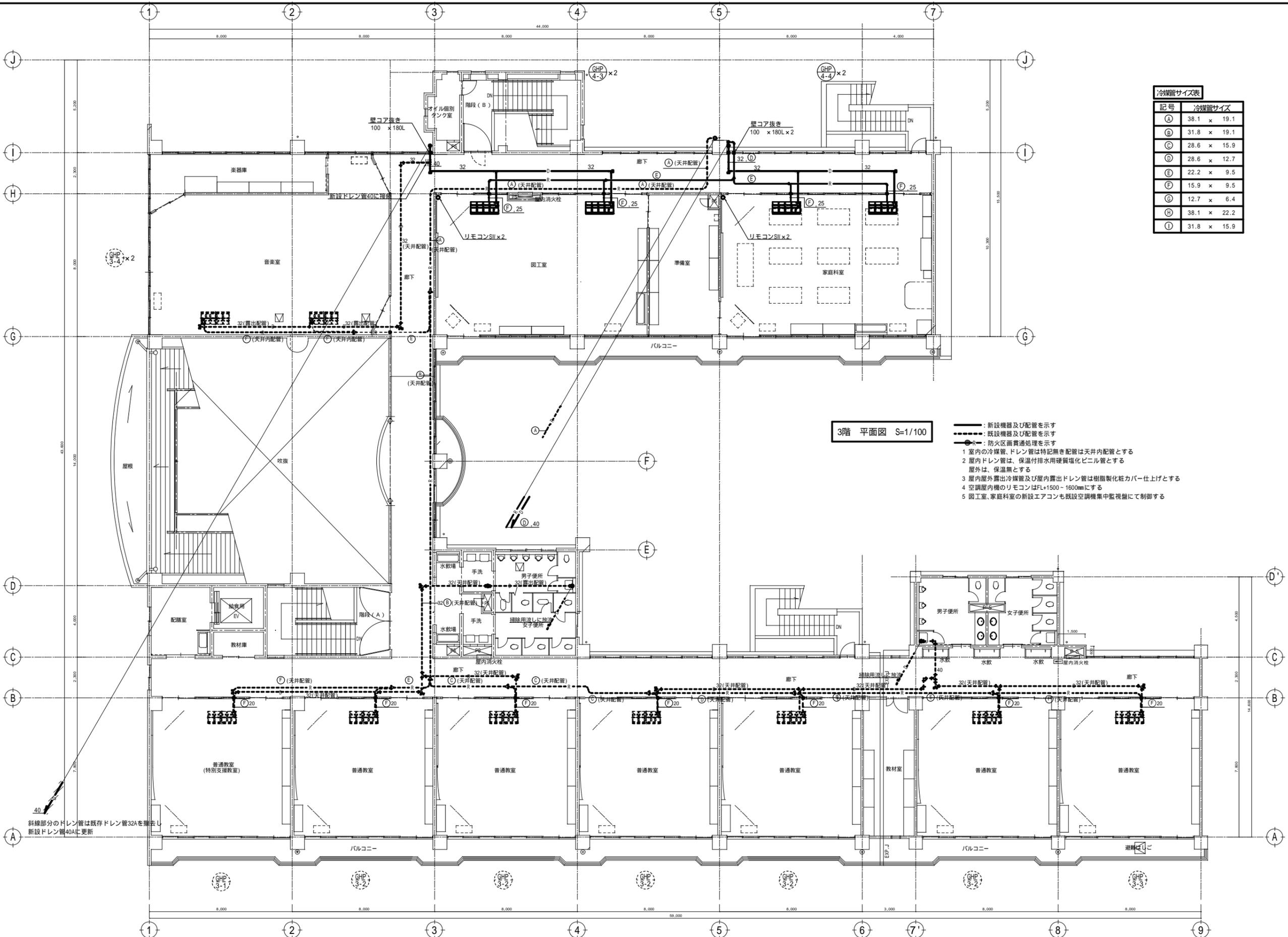
- : 新設機器及び配管を示す
- - -: 既設機器及び配管を示す
- R-: 防火区画貫通処理を示す
- : 室内の冷媒管、ドレン管は特記なき配管は天井内配管とする
- : 屋内ドレン管は、保温付排水用硬質塩化ビニル管とする
- : 屋外は、保温無とする
- : 屋内屋外露出冷媒管及び屋内露出ドレン管は樹脂製化粧カバー仕上げとする
- : 空調室内機のリモコンはFL+1500 - 1600mmにする



記号	冷媒管サイズ
Ⓐ	38.1 x 19.1
Ⓑ	31.8 x 19.1
Ⓒ	28.6 x 15.9
Ⓓ	28.6 x 12.7
Ⓔ	22.2 x 9.5
Ⓕ	15.9 x 9.5
Ⓖ	12.7 x 6.4
Ⓗ	38.1 x 22.2
Ⓘ	31.8 x 15.9

- : 新設機器及び配管を示す
 - - - - - : 既設機器及び配管を示す
 ● : 防火区画貫通処理を示す
- 室内の冷媒管、ドレン管は特記無き配管は天井内配管とする
 - 屋内ドレン管は、保温付排水用硬質塩化ビニル管とする
屋外は、保温無とする
 - 屋内屋外露出冷媒管及び屋内露出ドレン管は樹脂製化粧カバー仕上げとする
 - 空調室内機のリモコンはFL+1500 - 1600mmにする
 - 多目的スペース、理科室の新設エアコンも既設空調機集中監視盤にて制御する

2階 平面図 S=1/100

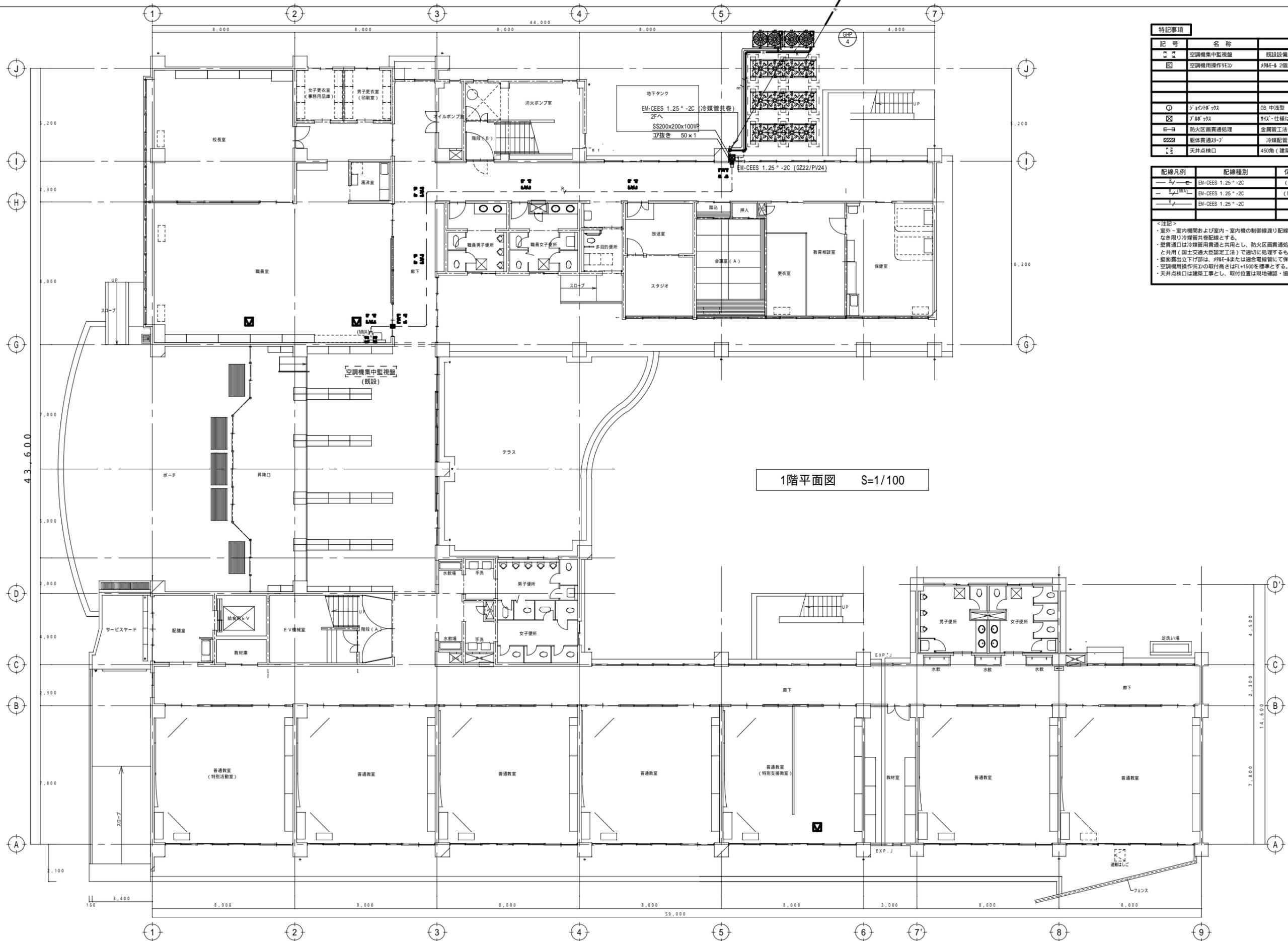


記号	冷媒管サイズ
Ⓐ	38.1 x 19.1
Ⓑ	31.8 x 19.1
Ⓒ	28.6 x 15.9
Ⓓ	28.6 x 12.7
Ⓔ	22.2 x 9.5
Ⓕ	15.9 x 9.5
Ⓖ	12.7 x 6.4
Ⓗ	38.1 x 22.2
Ⓘ	31.8 x 15.9

3階 平面図 S=1/100

- : 新設機器及び配管を示す
- - - : 既設機器及び配管を示す
- : 防火区画貫通処理を示す
- 1 室内の冷媒管、ドレン管は特記無き配管は天井内配管とする
- 2 屋内ドレン管は、保温付排水用硬質塩化ビニル管とする
屋外は、保温無とする
- 3 屋内屋外露出冷媒管及び屋内露出ドレン管は樹脂製化粧カバー仕上げとする
- 4 空調室内機のリモコンはFL+1500 - 1600mmにする
- 5 図工室、家庭科室の新設エアコンも既設空調機集中監視盤にて制御する

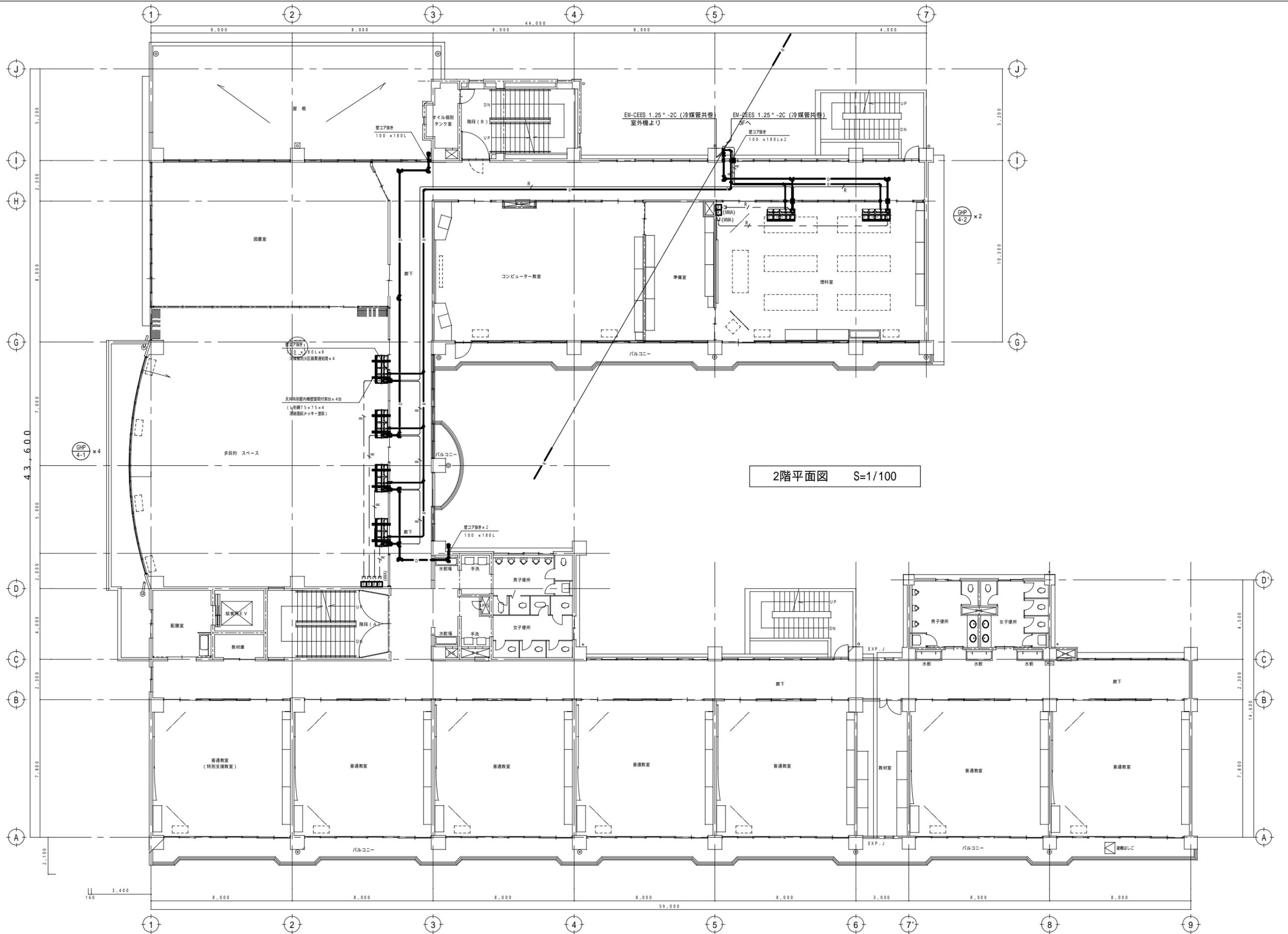
斜線部分のドレン管は既存ドレン管32Aを撤去し
新設ドレン管40Aに更新

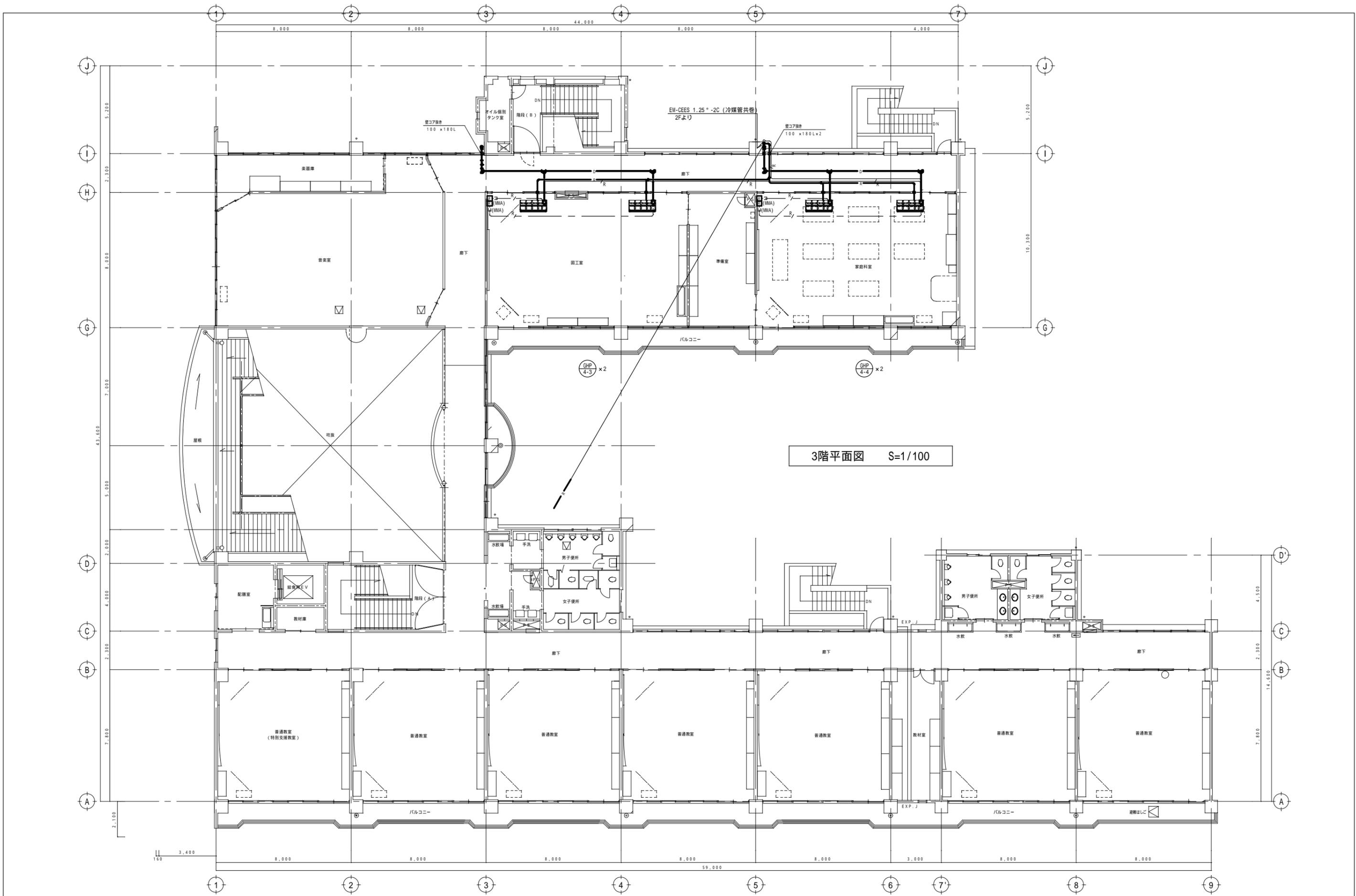


特記事項		
記号	名称	適用
⊠	空調機集中監視盤	既設設備流用
⊞	空調機用操作パネル	M9E-8 2個用タイプ付
○	ダクト付	08 中浅型
⊞	ブレース	形状・仕様は別記参照
E-30	防火区画貫通処理	金属工法
⊞	躯体貫通ダクト	冷媒配管用貫通口と共用
⊞	天井点検口	450角(建築工事)

配線凡例	配線種別	保護管	備考
—●—	EM-CEES 1.25°-2C	(E25)	-
—●—	EM-CEES 1.25°-2C	(M-A)	-
—●—	EM-CEES 1.25°-2C	-	冷媒管共巻

<注記>
 ・室外～室内間および室内～室内機の制御線配線については、特記なき限り冷媒管共巻配線とする。
 ・壁貫通口は冷媒管貫通と共用とし、防火区画貫通処理も同様に冷媒管と共用(国土交通大臣認定工法)で適切に処理するものとする。
 ・壁面貫通上下部分は、ダクトまたは適合電線管にて保護する。
 ・空調機用操作パネルの取付高さはFL+1500を標準とする。
 ・天井点検口は建築工事とし、取付位置は現地確認・協議の上決定とする。





3階平面図 S=1/100